

Chinese

你好

中国語

学習の手引き

國學院大學

はじめに

この『中国語学習の手引き』は、國學院大學ではじめて中国語を学ぶみなさんに、中国語とお付き合いする際のヒントをご紹介しますものです。

実際の授業では、担当の教員から様々なアドバイスがなされるはずです。まずは教室での指導に従って、発音や文法事項を少しずつ、確実なものにしていくことが大切です。また、日々の学習で疑問点があれば、その都度教員に質問していただいてもかまいません。みなさんが中国語を好きになってくれること、4年間で将来のお仕事や研究に対応できる中国語の力を身につけることを、中国語の教員全員が願っていますし、そのためのサポートは惜しみません。

ただし、学部や学科によっては、中国語科目の履修が卒業のための要件になっていませんし、中国語が必修科目に指定されていても、必要最低限の科目を履修して、一定以上の成績をおさめれば、みなさんは卒業要件を満たすことになります。ですが、そこにほんの少しの好奇心と頑張りを追加することで、みなさんの大学生活をいっそう充実させることができます。大学の4年間で「使える」中国語を身につけることは十分可能ですし、なにより、これまで触れたことのなかった外国語を学ぶことは、世界に視野を広げることにつながるはずです。

『中国語学習の手引き』では、國學院大學の中国語科目の説明から、学習のヒント、中国に関する基礎知識、旅行の際の注意、日常会話メモなど、おおよそ1年次終了までの中国語学習を実りあるものにし、よりよいスタートをきっていただくための情報を集めました。日常の学習の合間にも是非お読みいただきたいですし、中国へ旅行や短期留学に行く機会があれば、ここに書かれている内容は一通り頭に入れてほしいと思います。

みなさんが中国語学習を楽しみ、積極的に授業を活用してくださることを、心から願っています。

國學院大學 中国語専任教員一同

目 次

授業編 ——中国語とのつきあい方

國學院大學の中国語科目	4
授業を活用しよう	10
中国語の発音	13
やさしい中国語の文法	26
中国語の辞書	33
パソコンで中国語	42
中国語基本単語チェックシート	50

旅行編 ——中国を歩くヒント

中国・旅の基本 ——ビザ（“签证”）のあれこれ	73
中国・旅のコツ	75
中国・旅の安全	84
すぐに役立つワンフレーズ中国語会話	90
中国の食	101
中国の民族	103
中国民族名一覧	104
中国の年中行事 ～春節と中秋節～	106
中国の省級行政区	107
中国と周辺の国々	109
おすすめの本	110

最後に一言 ——中国語を学ぶみなさんへ

中国語を学んでから	112
-----------------	-----

授 業 編

中国語とのつきあい方



國學院大學の中国語科目

みなさんが履修する中国語科目についての説明です。履修方法や登録の仕方については、『履修要綱』も参照してください。

○ 必修（選択必修）外国語科目

これらの科目は、文学部の学生のためのものです。必修科目ですので、単位を修得しないと卒業できません。文学部の学生は、「選択外国語」科目も合わせて履修することができます。時間割に余裕がある方は検討してみてください。

中国語基礎AⅠ・中国語基礎AⅡ（各1単位）

文学部外国語文化学科・哲学科の1年生で中国語を選択した人と、中国文学科の1年生全員が受講します。「基礎AⅠ」は前期に、「基礎AⅡ」は後期に開講されます。原則として日本人の教員が、1年間を通して1人で担当します。

前期の「基礎AⅠ」では、まず発音の学習から始めます。中国語は漢字で表記されますが、日本語とは全く違った発音をもっています。「中国語も外国語なんだ」ということを理解して、およそ400ある中国語の音が、自分の口で発音でき、耳で聴いてわかるようにしていきます。その後で、文法の学習に入ります。

後期の「基礎AⅡ」では、「基礎AⅠ」に引き続き、基礎的な文法事項を学びます。「基礎AⅡ」を終えるまでに、基礎的な中国語の文法は網羅しますので、中国語がどういう言葉なのか、おおむね理解することができるようになるはずです。

中国語基礎BⅠ・中国語基礎BⅡ（各1単位）

文学部外国語文化学科・哲学科の1年生で中国語を選択した人と、中国文学科の1年生全員が受講します。「基礎BⅠ」は前期に、「基礎BⅡ」は後期に開講されます。原則として中国人の教員が、1年間を通して1

人で担当します。

内容自体はA－1の「中国語基礎AⅠ・Ⅱ」と似ていますが、ネイティブ教員による発音や表現力の指導が特徴です。

中国語基礎AⅠ・中国語基礎AⅡ（日文・史学）（各1単位）

文学部日本文学科・史学科の1年生で、中国語を選択した人が受講します。授業の内容については、「中国語基礎AⅠ・Ⅱ」または「中国語基礎BⅠ・Ⅱ」に準じます。1年間を通して、日本人か中国人の教員が1人で担当します。

万一、1年次に単位が修得できなかった場合は、翌年度以降に「選択外国語」の「中国語初級Ⅰ・Ⅱ」との合同クラス（登録科目名は「中国語基礎AⅠ・Ⅱ（日文・史学）」）を履修することになります。

中国語中級AⅠ・中国語中級AⅡ（各1単位）

文学部外国語文化学科・哲学科の2年生で中国語を選択した人と、中国文学科の2年生全員が受講します。「中級AⅠ」は前期に、「中級AⅡ」は後期に開講されます。原則として日本人の教員が、1年間通して1人で担当します。

1年生の時に学んだ発音や文法事項を強化して、中国語能力を実用的なレベルに近づけます。文の構造を理解し、わかりにくい表現も消化して、少し難しめの文章を読めるように、読解力を身につけます。基本的な中国語の能力は、ここで完成させます。

中国語中級BⅠ・中国語中級BⅡ（各1単位）

文学部外国語文化学科の2年生で中国語を選択した人と、中国文学科の2年生全員が受講します。「中級BⅠ」は前期に、「中級BⅡ」は後期に開講されます。原則として中国人の教員が、1人で1年間通して担当します。

ネイティブの教員による、実用的な会話や作文の指導がメインになります。もっとも、「実用」の前には基本的な事柄をしっかり身につける必要があります。1年生の時に学んだ発音や文法事項をしっかり確認しながら、「使える中国語」への橋渡しをします。

○ 選択外国語Ⅰ類（自由選択科目）

以下の科目は、学部や学科、学年を問わず、原則として誰でも履修できます。時間割の都合が合い、年間履修科目数の上限までに余裕があれば、全て履修することが可能ですし、文学部外国語文化学科・中国文学科・日本文学科・哲学科・史学科の学生が必修科目に追加することで、中国語力の強化や補習用として活用することもできます。

修得した単位は、教養総合科目の卒業要件 36 単位に含めることができます。

中国語初級Ⅰ・中国語初級Ⅱ（各 1 単位）

初めて中国語を学ぶ人のための科目です。「初級Ⅰ」は前期に、「初級Ⅱ」は後期に開講されます。「初級Ⅰ」も「初級Ⅱ」も、1 年間を通じて同じ教員が担当します。

前期の「初級Ⅰ」では、発音の学習から始めます。中国語は漢字で表記されますが、日本語とは全く違った発音をもっています。「中国語も外国語なんだ」ということを理解して、およそ 400 ある中国語の音が、自分の口で発音でき、耳で聴いてわかるようにしていきます。その後で、文法や語彙の学習に入ります。

後期の「初級Ⅱ」では、引き続き基礎的な文法事項を学びます。「初級Ⅱ」を終えるまでに一般的な文法事項は網羅しますので、中国語がどのような言葉なのか、おおむね理解することができるようになるはずです。

中国語総合初級Ⅰ・中国語総合初級Ⅱ（各 1 単位）

初めて中国語を学ぶ人のための科目です。「総合初級Ⅰ」は前期に、「総合初級Ⅱ」は後期に開講されます。中国人教員が担当する場合は中国語の表現（会話や作文）に力を入れ、日本人教員が担当する場合は、基礎的な文法事項と併せて、中国の社会・文化等を紹介します。

中国語を学びながら、中国の人・社会・文化・風習などについて、総合的な理解への入り口を提供します。とはいえ、あくまでも中国語の授業ですから、まずは発音をしっかりと身につける必要があります。前期

の「総合初級Ⅰ」では、中国語独特の発音の学習から始めます。

この科目を「中国語初級Ⅰ・Ⅱ」と同時に履修することで、中国語の文法・表現・知識がバランス良く身につくはずです。

中国語入門（1単位）

初めて中国語を学ぶ人のための、半期完結科目です。前期・後期いずれか、1コマのみ履修できます。

中国語を本格的に学ぶ前に、まずはアウトラインだけをおさえたい、必修として他の言語を選択しているけれども、中国語にも興味がある、などといった人にお勧めです。もちろん、「中国語初級Ⅰ・Ⅱ」や「中国語総合初級Ⅰ・Ⅱ」と同時に履修することもできますし、「中国語中級Ⅰ・Ⅱ」などを履修しながら、復習用として利用することも可能です。

中国語中級Ⅰ・中国語中級Ⅱ（各1単位）

中国語を学んだことのある人や、前年度以前に「中国語初級Ⅰ・Ⅱ」や「中国語総合初級Ⅰ・Ⅱ」などを履修した人のための科目です。「中級Ⅰ」は前期に、「中級Ⅱ」は後期に開講されます。

「発音は一通り身につけたし、文法も主なものは覚えた、さあ中国語を使ってみよう」と思っても、なかなか難しいものです。基礎段階で学習した事柄を、実用的なレベルに結びつけるには、一工夫必要なのです。少しわかりにくい表現や、入り組んだ文章に取り組みながら、中国語の構造（文の仕組み・語順）を自分のものにする必要があります。独学では難しいコツをつかむお手伝いをします。

中国語総合中級Ⅰ・中国語総合中級Ⅱ（各1単位）

中国語を学んだことのある人や、前年度以前に「中国語初級Ⅰ・Ⅱ」や「中国語総合初級Ⅰ・Ⅱ」などを履修した人のための科目です。「総合中級Ⅰ」は前期に、「総合中級Ⅱ」は後期に開講されます。中国人の教員が担当する場合は、生活に密着した活きた表現を学び、日本人教員が担当する場合は、中国語を通して中国の社会や文化を学びます。

基礎段階で学習した事柄をふまえて、中国語で自分の意思を表現したり、中国語を使って中国のことを学ぶ（情報を取り入れる）ためのトレ

ーニングをします。文法や語彙の確実な理解をめざす「中国語中級Ⅰ・Ⅱ」よりも、実践的な授業です。

中国語上級Ⅰ・中国語上級Ⅱ（各1単位）

教養総合として開設された中国語科目の中では最高レベルで、すでに基本的な中国語能力を身につけている人のための授業です。会話が中心になるか、読解が中心になるか、あるいは中国語学に関する内容になるか、担当の教員の方針と履修者のニーズによって変化しますが、いずれにせよ、将来のお仕事や研究に直結した実用的な力を養う授業になります。中国関係の企業への就職や中国留学、大学院への進学などをお考えの方にお勧めです。

○ 選択外国語Ⅲ類

自由に選択して履修できる科目です。修得した単位は、教養総合科目の卒業要件36単位に含めることができます。

検定中国語（1単位）

中国語検定試験やHSK（漢語水平考試）受験のための、事前指導をします。設置される時間帯や担当の教員によって、設定レベルは異なりますので、シラバスをよく読んでから履修登録をしてください。

1年次から4年次まで、毎年履修することができます。検定試験等の受験を考えている人は、是非活用してください。なお、半期完結の科目ですが、時間割の都合がよければ、前期・後期とも履修することが可能です。

留学中国語（1単位）

夏休みと春休みに、本学と協定を結んでいる中国語圏の大学で、短期語学留学が実施されます。現地の教員によって中国語で行われる授業を

受講し、試験に合格することで単位認定されます。なお、短期留学には在学中何度でも参加できますが、「留学中国語」として単位が認定されるのは1回のみです。

「留学中国語」とは関係ありませんが、セメスター留学（4 ヶ月間）も行われています。短期留学・セメスター留学ともに、詳しくは本学の国際交流課にお問い合わせください。

D 専門科目

文学部の外国語文化学科、中国文学科には、それぞれ学科の専門科目として中国語に関する授業があります。外国語文化学科では「中国語演習Ⅰ～Ⅳ」が、中国文学科では「中国語基礎演習」、「中国語演習Ⅰ～Ⅱ」が開講されています。これらの科目は、「全学オープン科目」となっているものを除いて他学科の学生は履修できませんが、当該学科のみなさんは、上に述べた中国語科目と併せて履修することで、より効果的に中国語を身につけることができます。

主として3～4年次に、語学、文学、文化、歴史等々の専門分野に取り組む際、中国語が不可欠の基礎学力として重要になってくる場合があります。当該学科の学生のみなさんは、意欲的に中国語の学習に取り組んでください。



授業を活用しよう

1 外国語の授業は「参加型」

大学には、大きく分けて2つの授業形態があります。1つは講義科目と言って、教員が話す内容を理解して、知識を増やし、いろいろなものの考え方を学ぶもの。講義科目は一般的に履修者の人数が多いこともあって、学生と教員の間で活発にコミュニケーションをとるのは大変です。授業の感想などを積極的に取り入れて、わかりやすい講義にする工夫をしている教員はたくさんいますが、それでも授業そのものは教員から学生へ、一方通行の知識伝達がメインになります。大学の授業として、一般にイメージされるのは、この講義科目かもしれません。

もう1つが、演習科目や実技系科目とよばれるもの。これは比較的少人数で行われます。専門的な内容について教員と学生とがディスカッションしたり、技術や技能を身につけるために教員と学生が様々なやりとりをするのです。外国語科目はこちらに相当し、多くても50人、一般的には10～30人で行われます。ほとんどの教員は、履修している学生の顔や名前を覚えて、1人1人の学習状況について、気を配りながら授業をすることになります。

まず、みなさんに認識してもらいたいのは、外国語の授業は少人数だからこそできる「参加型」の授業だということ。この「参加」というのは、「出席する」という意味にとどまりません。教員の問いかけに学生1人1人が答え、教員は学生とのやりとりを通じて授業の進度を確認します。逆に言うと、みなさんがただ出席しているだけでは、授業はうまく成立しません。積極的に授業に「参加」してくれる学生がいてこそその外国語科目、学生と教員の関係性ができあがってはじめて成り立つのが外国語の授業なのです。

2 中国語の授業は発音練習から始まる

さて、中国語の授業は、一般に発音の練習から始まります。日本語が「あいうえお……」の50音なのに対し、中国語は404音で、そのほとんどは日本語と似てもにつかない音。さらに音程の上げ下げやリズムによる区別があって、それらを最初の2ヶ月くらいで一通り身につけてもらおうというので

す。中国語は漢字を使いますが、あくまでも外国語。耳や口を通した中国語は、みなさんにとっては完全に未知の領域だと思います。

そこで、中国語の音をローマ字で表記した「拼音（ピンイン）」というのにそって、口の開け方や動かし方、息の出し方などを、教員が細かく指導することになります。「唇はこんなふうにあけてごらん」「あごの開き方はこのくらいにしよう」「舌はこんなふうに動かしてごらん」といった、中学校や高校での英語の授業でもやらなかったような指導が、1人1人に対して行われます。ところで、この段階でもう「あー、もう嫌だ!」と思ってしまう人がたまにいます。この人です。「発音で中国語に挫折した」という人は、実際少なくありません。どうしてそうなるのでしょうか。

3 発音練習を乗り切ると……

まず、「発音で挫折する」人の多くが、恥ずかしがり屋であるということと言えるかもしれません。みんなの前で、これまで出したこともない奇妙な音を出すということに、抵抗があるのは仕方ないことでしょう。最初は、声が多少小さくなってしまったり、口の開け方が小さかったりする人もいますが、それについて教員が怒ることはまずありませんので、少しずつ教室という場に慣れて、度胸をつけていってこれればよいと思います。

問題は、度胸はあって、積極的なタイプの人にも、「発音で挫折する」ことがあるという点です。

ここで、外国語の授業が「参加型」であるということを出してほしいのです。教員の話や、まじめに聞いているだけ、つまり受け身では、なかなか思うような効果が出ません。スポーツの練習と似ていますね。実際にボール、ラケット、竹刀、バットなどを手にして、それを自在に操れるように訓練しなければ、いくら知識の量を増やしても上達は難しいでしょう。中国語の授業でも同じことが言えます。

自分自身の中国語を標準的な発音に近づけるために、少なくとも「通じる」許容範囲内の発音を身につけるために、みなさんの1人1人が主体的にとりくむことが大切です。みなさんの今の発音がどうなっているのか、どこが苦手なのかを、授業中に教員が細かく指導してくれるはずですが、その場をやり過ごすだけでは、すぐに忘れてしまいますから、言われて考えたこと、覚えたことを、実際に何度か口を動かして定着させるという作業が必要になります。

す。手鏡を見ながら、自分の口の動きを確認したり、自分の声を録音して聞いてみるのもいいでしょう。いろいろ工夫してみて、難しかった音が出せるようになったら、教員のところへ行って確認してもらうのもいいでしょう。

そのようにして発音練習を乗り切った頃には、中国語を身につけるための取り組み方というのを、みなさんは自然に理解しているはずです。卒業後に、必要に駆られて語学学校やカルチャースクールに通う人もいますが、大学の中国語教育の水準は、今では決して専門の語学学校にひけを取りません。4年間で使える中国語を身につけることは、みなさんの努力次第で十分に可能なのです。単位を取ることをだけを目標にするのではなく、中国語を「身につける」ことを、是非とも念頭においてもらいたいと思います。

4 基本は「自分本位」で

授業中は、ほかの学生も一緒ですし、最低限のマナーは必要になります。私語は控えるとか、遅刻をしないとか、いきなり立ち上がって歩きまわったりしたら周りに迷惑だろうな、というようなことは、みなさんもよくわかっていると思います。ただし、中国語への取り組み方としては、基本的に「自分本位」であってかまわないと思うのです。

ここでいう「自分本位」とは、自分の意欲に正直であること。つまり、あなた自身の疑問点を納得がいくまで追求し、うまくできないことをできるようになるまで突き詰めるのを、授業中にやっていいということです。教員からしても、何の質問も出ない静まりかえった教室というのは、少なくとも中国語の授業に関しては面白くありません。「本当に大丈夫なのかな？」という一抹の不安をかかえながら、授業を進めることになります。

騒がしいのがいいと言っているわけではありませんし、「自分本位」は「自分勝手」とは違います。ただ、中国語を身につけたいという意欲に従った結果であれば、授業中でも休み時間でも、遠慮せずに教員を頼ってください。そして、自分の得意不得意をはっきりと認識して、不得意部分を克服する方法を考えてみましょう。問題がどこにあって、それをどう解決するのか、学問でも仕事でも求められる問題発見・問題解決のスキルを修得するにも、中国語の授業は有効です。1つの外国語を、最低限使えるレベルまでもっていくこと、それを大学の授業を通して行うことで、数年後のみなさんは、思いがけずに人生の経験値を稼いでいたことを知るはずです。

中国語の発音

はじめに

日本語の発音が、5つの母音と9つの子音からなる「50音」であるのに対し、中国語は36～38個の母音と21個の子音からなりたっている「404音節」です。母音には、ローマ字1文字の「単母音」のほかに、2～4文字の「複母音」もあり、その中には日本語の発音からすると「ありえない」ようなものも含まれます。なお、中国語のローマ字表記のことを、一般に「ピンイン」（拼音）と呼んでいます。

404の音が、それぞれ漢字1文字の読み方を表しているのですが、ご存じのように、漢字はものすごくたくさんあります。404個の読み方だけでは、とても間に合いません。たとえば、「妈（媽）」「麻（麻）」「马（馬）」「骂（罵）」の読み方は、全て **ma** というピンインで表されます。「お母さん」「麻」「ウマ」「ののしる」がみんな同じ音では、話す人も聴く人も困ったことになるでしょう。そこで、音の高低（調子）で差を付けています。音の調子によるこの変化のことを「声調」といい、声調には4つあるので「四声」といったりします。単純計算すると、みなさんが習う標準的な中国語（普通话）には404×4の音があるということになります。

教科書に、中国語の404の音を一覧にした「中国語音節表」というのが載っていると思います。是非そちらも参照しながら、中国語の美しい発音を身につけてください。教科書にカタカナのふりがなをふって「なんちゃって中国語」を覚えるのは、絶対にやめましょう。

ここでは、発音のイメージトレーニングに役立つように、一つ一つの音について出し方を説明しますが、いきなり説明を読んでもわかりにくいと思います。実際には、授業中に担当の教員が、みなさん一人一人の様子を見ながら、詳しく手ほどきをしてくれます。授業での練習に行き詰まった時や、お家での復習の時にご覧ください。

1 単母音（1文字の母音）①

a o e i u ü

a 日本語の「ア」よりもあごを大きく開けて、奥の方から発声します。

o あごを大きく開けたまま、唇を丸くすぼめて「オ」と発声します。

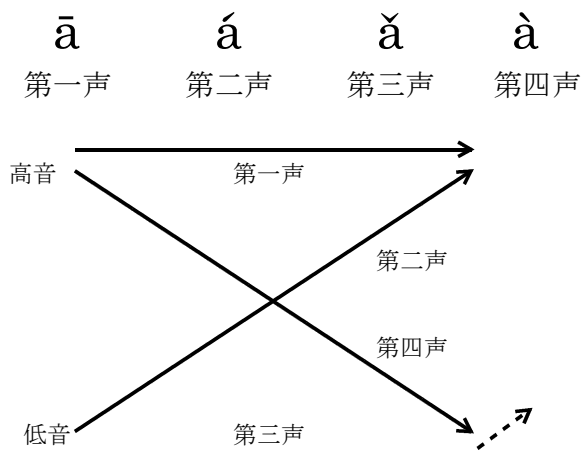
e 唇は半開きで少し横に引く感じ、あごは力を抜いて楽に開きます。舌は上あごにも下あごにも付けず、少し奥の方へ縮めます。そのままのどの奥から、「ア」と「オ」の中間のような音を出します。

i 唇をおもいきり横に引いて、舌は下あごの中に平たく、すっぱり収めます。そのまま「イ」と発声します。日本語の「イ」よりも澄んだ音です。

u 日本語の「ウ」よりも、あごの開きは大きいです。上下の奥歯がくっつかないように注意しましょう。唇はやさしく前に突き出します。

ü 唇はおもいきり小さくすぼめて、日本語の「ユ」のような形にします。舌は **i** のときと同様、下あごに平たく収めておきます。口笛かフルートを吹くように、小さくすぼめた唇の形を保ったまま「イ」と発声してもいいです。

2 声調（四声）



第一声 …自分の音域の最高点ちかくを保って、まっすぐのばします。途中で上がったり下がったりしないように注意。

第二声 …低めの音域から、最高音域まで一気に上げます。直線的に勢いよく上げたほうがきれいに聞こえます。

第三声 …音域の最低点ちかくに保ったまま声を出します。ゆっくりと丁寧に発音したときや、センテンスの最後にきたときは、声を低く抑えた反動で最後が上がりますが、上げることは意識しなくてもけっこうです。「低く押さえる」ことに注意します。

第四声 …音域の最高点から、最低点ちかくまで一気に下げます。

3 複母音（2文字以上の母音）

*下線部を強くはっきりと発音します。

ai

ei

ao

ou

ai a をはっきり発音した後、切らずに i に続けます。2文字で1つの母音ですから、a と i が切れてしまっはいけません。あごを大きく開いて a を出したら、唇を横に引きながらあごを閉じていき、音を出し終えた時点で唇・あご・舌が i の形になっているようにします。

ei この e は、日本語の「エ」に近い音になります（舌を少し奥にひくときれいです）。単母音の e とは違うので注意しましょう。「エ」をはっきり発音し、切らずに i の口の形にします。

ao a をはっきり発音した後、唇を丸めて o にしていきます。

ou o を発音した後、あごを閉じながら唇を突き出して u の口にします（u のときに歯と歯が閉じないように）。

4 子音①

* o、e、i はそれぞれ母音です。

	無気音	有気音	鼻音	摩擦音	流音
唇で出す	<u>b</u> o	p <u>o</u>	<u>m</u> o	f <u>o</u>	
舌先で出す	<u>d</u> e	t <u>e</u>	<u>n</u> e		<u>l</u> e
のどで出す	<u>g</u> e	<u>k</u> e		<u>h</u> e	
舌と上あごの間	<u>j</u> i	<u>q</u> i		<u>x</u> i	

b 唇をぴったり閉じて、真ん中に少しすぼめます。その後、母音につなげます。

p 唇の形は **b** と同じですが、閉じた唇に息の「ため」を作り、破裂させるように開いて母音につなげます。口の中のもの（嚙んでいたガムとか）を遠くへ飛ばすような要領です。息をためて破裂させるようにして出す音を「有気音」、あまりためないで出す音を「無気音」といいます。

m 唇は、やはりぴったり閉じます。ただ **b** や **p** とは違って、息を鼻に抜きます。必然的に、唇から出る息の量は小さくなって、半分くらいは鼻から出ることになります（日本語の「マミムメモ」の **m** と基本的に一緒です）。

f 上の門歯（真ん中の大きな2本の歯）に、下唇を軽く触れさせます。上の歯と下唇の間から息を搾り出すように、一瞬かすれた音を出して、母音につなげます。

d 唇は少しだけ開いておきます。舌を上あごにやさしく触れさせて、離すと同時に母音の形に唇・あご・舌をもっていきます。

t 口の形は **d** と同じですが、有気音なので、息を「ため」なくてはなりません。**t** は、上あごと舌とで息を溜め、舌をサッと離す際に、破裂したように息を出します。

n 唇・あご・舌の形は **d** や **t** とほぼ同じですが、息を鼻に抜きます。舌を上あごに軽くあてて「ンー」と言いながら、舌を少し離すと **ne** のような音になります。

- l** 上あごに舌を触れさせるのは **d t n** と似ていますが、**l** は舌の一番先端を上歯茎のあたりに付けます。**d t n** は、舌の先端からだいたい2 cmくらいのところが上あごに触れていました。
- g** 舌の奥を、のどの上側に押しつけるようにして（単にのどをせまくするようなイメージでもいいです）、息の出るのを止めます。そのままゆるやかに気道を開放させて、母音につなげます。日本語で「カキクケコ」「ガギグゲゴ」を発音するときにも、舌の奥で一瞬のどをふさいでいるんですが、わかりますか？
- k** 口の形は **g** と同じですが、有気音なので息を破裂させます。息をためるところは、舌の奥の方（のど）です。
- h** のどのあたりを意識しますが、気道をふさぎません。のどでかすれた音を出します。日本語で「ハ」「ホ」というときに聞こえるかすれた音に似ています。
- j** あごは完全に閉じて、舌を上あごに密着させます。舌先は閉じた前歯の裏側に触れる感じ。舌の表面と上あごの間で息を軽く止め、舌をちょっと引きながら母音を発音します。
- q** **j** と同じ口ですが、有気音なので、舌の表面と上あごの間で息をたっぷりためておいて、母音にうつるときに一気に開放します。
- x** 舌で息を止めないでいいです。歯と歯の間から息が漏れるようなかすれた音を出して、母音につなげます（**xi** が、日本語の「シ」に一番近い音になります。後ででてくる **shi** や **si** は、「シ」とは全く違う音です）。

5 複母音②

* 下線部を強くはっきりと発音します。

ia ie ua uo üe iao iou uai uei

- ia** 唇を横に引いて **i** の形を作った後、一気にあごを開いて **a** を発音します。「ヤ」にならないように注意しましょう。

- ie** i の後で、「エ」をはっきりと発音します。
- ua** 唇を丸く突き出して u の形を作った後、a をはっきりと発音します。
- uo** u の形を作った後で、唇の丸さはそのままあごを開き、強めに o を発音します。
- üe** ü の後で、上唇の緊張をゆるめながら、はっきりと「エ」を発音します。「ユエ」にならないよう注意しましょう。
- iao** i の後で ao、もしくは ia の後で o を発音します。a をはっきり発声すると、きれいに聞こえます。
- iou** 唇を横に引いて i の口を作った後、ou を発音します。
- uai** 唇をすぼめて u の口を作った後、あごと唇を勢いよく大きく開いて ai に移行します。「ウ・ア・イ」のように 3 文字がバラバラにならないように注意しましょう。
- uei** u の口を作った後、ei に移行します。この e も日本語の「エ」に近い音です。
-

6 複母音③

er

- er** この e は「エ」ではありません。短母音の e です。ただ、普通の e よりもあごを少し大きめに開けておきます（日本語の「ア」に近い音でもかまいません）。e を出しながら、舌の先を上あごと直角になるように立てて（舌先を真上に向ける気持ちで）、くぐもった音にします。「アル」のように唇をすぼめるのはよしでしょう。
-

7 短母音②

-i

-i 短母音 i は、普通唇を横に引き、舌を平たくして出す澄んだ音でしたが、くぐもった音を表す場合があります。

①子音 z c s が付いたときは、唇を横に引いたままで「ウ」と発音します。

②子音 zh ch sh r が付いたとき（巻舌音）は、歯と歯を閉じて、唇を四角く（歯ブラシで前歯をみがくときのように）開きます。

特定の子音に付いたときしか発音されません。単独では練習できないので、子音②と子音③を参照してください。



8 子音②（舌端音）

<u>zi</u>	<u>ci</u>	<u>si</u>
無気音	有気音	摩擦音

Z 歯と歯を閉じて、唇を横に引きます。前歯の裏あたりで息を止めて、ゆるやかに母音につなげます。-i 以外の母音に付く場合は、あまり難しく考えなくていいのですが、zi は特殊な音になります。歯を閉じ、唇を横に引いて、「ツ」と発音します。

C z の有気音バージョンです。前歯の裏あたりに溜めた息を、一気に破裂させます。ci は、唇を横に引いたままで「ツ」と発音します。

S z や c とは違って、前歯の裏で息は止めません。si は、歯を閉じて、唇を横に引いたままで「ス」と発音します。



9 子音③ (巻舌音)

zhi

無気音

chi

有気音

shi

摩擦音

ri

流音

zh 舌の先端を真上に向けて、上あごと直角にくっつけておきます。歯と歯は閉じて、唇は「四角く」開きます。舌と上あごのくっついたところで息を止め、舌を離しながら発音します。zhi の i はくぐもった音なので、舌先は上を向けたまま。唇を横に引いてはいけません。

ch 口の形は zh と同じですが、有気音なので、舌と上あごの接点に息をためます。舌を離すときに息を開放し、ためておいた息を勢いよく出します。

sh 歯を閉じて唇を四角くするのは zh ch と同じ。舌の先端を真上に向けますが、上あごには付けません。舌先を上あごに触れるギリギリの所で固定して、かすれたような、くぐもったような音を出します。

r 口の形は sh と似ています（やはり、舌先は上あごに付けません）が、「シュッ」というようなかすれた音は出しません。舌先を上に向け、唇を四角くしたままで「リ」と発音すると ri に近い音が出るはずですが、舌先を上あごに付けないで「リ」と発音してもかまいません。普通「ラリルレロ」を発音しようとする時、舌先が一瞬上あごにくっつきませんが、くつつく寸前で止める感覚を覚えると、r がきれいいに出るようになります。

jì qí xī

←唇を横に引いて、舌は平たく。

zhì chí shì

←歯を閉じて唇は四角く、舌先を真上に向ける。i はくぐもった音です。

zì cì sì

←唇を横に引いて、「ウ」という。

zū cū sū

←唇を丸く前に付きだして「ウ」という
u は歯と歯が離れるので注意。

li ←舌先が、上の歯茎に一瞬付きます。i は澄んだ音です。

ri ←舌先を真上に向け、上あごには付けずに固定します。こちらの i は、くぐもった音です。

10 複母音④（鼻母音 1）

an	en	in	
ang	eng	ing	ong

an あごを大きく開けて a を発音した後、舌を前歯のうしろ辺りに押しつけ、音を切ります（唇は閉じないように）。

ang あごを大きく開けて a を発音したまま、「ン」の音を鼻に響かせます。口は大きく開けたままですし、舌の形も a のときのまま平たく保って下さい。

en 「エ」に近い音（日本語の「エ」よりも、舌はちょっと引き気味で）を出した後、舌を前歯のうしろに当てて音を切ります。

eng 単母音の e を発音したまま、「ン」の音を鼻に響かせます。こちらは日本語の「エ」とは全く違う音ですから、注意して下さい。

in 唇を横に引いて、澄んだ i 音を出した後、舌で音を切ります。

ing 澄んだ i を発音したまま、「ン」の音を鼻に響かせます。強めに i を出して、舌を平たく保ったまま、のどの奥を開くようにイメージすると、きれいに響いてくれるはずです。

ong あごを大きく開け、唇を丸くして o を発音したまま、「ン」の音を鼻に響かせます。

11 複母音⑤（鼻母音 2）

ian iang iong
uan uang uen
üan

ian この a は、日本語の「エ」に近い音です。唇を横に引いて、澄んだ i を出し、「エ」に移行して、舌で音を切ります。

iang 澄んだ i から、ang に移行します。

iong 澄んだ i から、ong に移行します。

uan u から、an に移行します。ここはあごを大きく開ける普通の a です。

uang u から、ang に移行します。

uen u から、en に移行します。

üan この a も「エ」に近い音です。ü から「エ」に移行し、舌で音を切ります。

ün ü の後で、すぼめていた唇をゆるめると同時に、舌で息を切る n に移行します。



12 ピンイン表記のきまり①

子音 + uei → ui

母音 uei は、子音がくつつくと e を省いて表記します。e の音自体が消えてしまうわけではありませんが、弱くなります。歯を閉じず、口をすぼめて正確に u を発音した後、スムーズに i の口を作ると、間で必然的に「エ」のような音が出てきます。中国語の u は、日本語の「ウ」と違って歯と歯を少し開けたままにするのでした。それができていれば、問題なく発音できるはずです。

<u>uēi</u>	<u>uéi</u>	<u>uěi</u>	<u>uèi</u>
duī	duí	duǐ	duì
huī	huí	huǐ	huì
guī	guí	guǐ	guì

子音 + iou → iu

iou の o も、なにか子音がついたときは表記が省略されます。i から u (歯と歯は開けたまま) へスムーズに移行できれば、必然的に o が現れます。

<u>iōu</u>	<u>ióu</u>	<u>iǒu</u>	<u>iòu</u>
niū	niú	niǔ	niù
jiū	jiú	jiǔ	jiù
xiū	xiú	xiǔ	xiù

子音 + uen → un

uen の e も、子音がつくと表記が省略されます。u を出した後、前に付きだしていた唇の力をゆるめて、舌で息を切る n に移行すると、間に単母音の e に似た音が自然に現れます。

<u>uēn</u>	<u>uén</u>	<u>uěn</u>	<u>uèn</u>
tūn	tún	tǔn	tùn
hūn	hún	hǔn	hùn
sūn	sún	sǔn	sùn

13 ピンイン表記のきまり②

何も子音がつかないと、表記の変わる母音があります。列挙しておきますので、教科書の「中国語音節表」で確認して下さい。

i	ia	iao	ie	iou	ian
↓	↓	↓	↓	↓	↓
yi	ya	yao	ye	you	yan

in	iang	ing	iong
↓	↓	↓	↓
yin	yang	ying	yong

u	ua	uo	uai	uei
↓	↓	↓	↓	↓
wu	wa	wo	wai	wei

uan	uen	uang	ueng
↓	↓	↓	↓
wan	wen	wang	weng

ü	üe	üan	ün
↓	↓	↓	↓
yu	yue	yuan	yun

14 声調符号の位置

声調（四声）を表す「声調符号」は、次のように母音の上につけます。

- ① a があれば、その上につける。
- ② a がなければ、e か o の上につける。
- ③ iu と ui は、うしろの方の上につける（iu なら u の上）。
- ④ i につけるときは、i の上の点のかわりに声調符号をつける。

15 三声連調

第三声が連続した場合、前のほうを第二声で読みます。ピンイン表記自体は変わらないので注意しましょう。

nǐ hǎo	→	ní hǎo
ピンイン表記		実際の発音

おわりに

以上、発音について、主に口の動かし方を中心に説明しました。実際に音を聞いてみなければ、イメージしにくいと思いますが、音を聞いて真似をしようとしても、日本語や英語にない音は難しいでしょう。授業中に先生の説明を聞いた上で、唇の形、あごの開け方、舌の動かし方の3点に注意しながら、試行錯誤してみてください。

大切なのは、完璧さよりも「中国語として許容範囲内かどうか」です。自分の発音が実際に通じる中国語であることとともに、相手の言った発音を認識できるようにしていきましょう。そのために、発音学習の段階で繰り返し練習し、基礎や中級の段階でも「許容範囲内」かどうかを確認するようにしてください。

やさしい中国語の文法

1. 中国語学習のポイント

新しい外国語を学び始めるとき、何を身につければいいのでしょうか。外国語を習得する上で、必要なものは3つあります。それは、「発音」「単語」「文法」です。日本語にはない発音の区別をしっかりとつけて、身近な物をあらかず単語を覚え、それを文法に従って組み立てれば、ひとまず、十分に通じる外国語になります。

中国語の発音には、日本語にはない音の区別がたくさんあり、これを全て正確に発音しわけるのは決して容易ではありません。しかし、発音には、人によって上手い下手があり、下手な人でも練習を繰り返してコツをつかめば、誰もががある程度は発音できるようになります。

単語は、これは暗記するしかありません。英語の学習のときと少し異なるのは、中国語の単語を暗記するときは「漢字」と「ピンインローマ字」の両方を覚える必要があるという点です（英語だって、スペリングと発音の両方を覚える必要がありますね）。

一方、文法はどうでしょうか。大学に入って中国語を学び始めた人は、1年生のうちは、もしかしたら文法を意識する必要がないまま1年間が終わってしまうかもしれません。他の言語、たとえばフランス語やドイツ語などに比べて、中国語では、1年生の教科書に複雑な文法解説は顔を出しません。これは、中国語の文法には、フランス語やドイツ語とは異なる特徴があるからです。どのような違いがあるのか、ちょっと比較してみましょう。

英語	<u>I</u> love you.	You love <u>me</u> .
ドイツ語	<u>Ich</u> liebe dich.	Du liebst <u>mich</u> .
フランス語	<u>Je</u> t'aime.	Tu m' <u>aimes</u> .
ロシア語	<u>Я</u> тебя люблю.	Ты <u>меня</u> любишь.

4つの言語で、左に「私は君を愛する」、右に「君は私を愛する」という文を示しました。各文の「私」の部分に下線が引いてあります。どの言語でも、

左右で「私」を意味する単語の形が違いますね。「私」という単語の語形を変化させることで、「私が」と「私を」とを区別しています。さらに、動詞の形が、右と左とで少し違うことにも気がついてください。ヨーロッパの多くの言語では、「主語が何か」によって動詞の末尾の形を変化させます（余談ですが、日本語では「君を愛する」より「君が好きだ」が普通の言い方ですね。この「君を」と「君が」で助詞が異なっているというのは、非常に興味深い現象です）。

フランス語やドイツ語の学習では、最初の1年生の段階で、この複雑な語形変化を徹底的にたたき込まれます。これがあやふやでは、先に進むことができません。

一方、中国語はどうでしょうか。同じ文を、中国語で表現してみます。

中国語	我 <u>愛</u> 你。	你 <u>愛</u> 我。
-----	---------------	---------------

中国語には、ヨーロッパの言語のような語形変化がありません。「私が」も「私を」も、同じく「我」を使います。語形が変化しません。「私が」なのか、「私を」なのかを区別する唯一の手がかりは、「主語＋動詞＋目的語」という語順にあります。

中国語では、複雑な語形変化を覚える必要がないので、最初のうちは文法が易しく感じられるはずです。しかし、その一方で、単語がどのような順番で並んでいるのかには、常に敏感でなければなりません。「中国語の文法の一歩のポイントは語順である」、これをしっかり覚えておいてください。

2. 主語と述語

中国語の基本の語順は「主語＋述語」です。

我去。 Wǒ qù.	「私は行きます。」
你说。 Nǐ shuō.	「あなたが言ってください。」
我很累。 Wǒ hěn lèi.	「私は疲れている。」
今天六月四号。 Jīntiān liù yuè sì hào.	「今日は6月4日です。」

注意すべきポイントが2つあります。第1のポイントは、述語は、動詞でも形容詞でもかまいません。数量を示す名詞句でもかまいません。英語では、形容詞が述語になるときは **be** 動詞を必要としますが、中国語は形容詞がそのまま述語になります。日付や時刻のような数を表す名詞句が述語になるときも、英語では **be** 動詞を必要としますが、中国語は必要ありません。

英語	I am very tired.
中国語	我很累。 Wǒ hěn lèi.
英語	It is two o'clock.
中国語	现在两点钟。 Xiànzài liǎng diǎn zhōng.

第2のポイントは、主語は、あってもなくてもかまわない、という点です。中国語も、日本語ほどではありませんが、主語がない文をよく使います。

来。 Lái.	「来なさい。」
不去。 Bú qù.	「行きません。」
很好 Hěn hǎo.	「とても良い。」
不好 Bù hǎo.	「だめです。」

誤解が生じない範囲なら、主語をどんどん省略してください。英語の感覚で、無理に主語を言おうとすると、かえって不自然な中国語になってしまいます。

3. 動詞と目的語

述語が動詞なら、「動詞＋目的語」の語順で、動詞の後ろに目的語を加えることもできます。

我吃饭。 Wǒ chī fàn.	「私はご飯を食べます。」
我喝茶。 Wǒ hē chá.	「私はお茶を飲みます。」
我看书。 Wǒ kàn shū.	「私は本を読みます。」

中国語の目的語は、英語の目的語とは性質がかなり異なります。上の3つの例では、いずれも「～を」という語句が目的語になっていますが、他の助詞をつけて訳すような語句も、中国語では目的語として動詞の後ろに置かれます。

我去学校。 Wǒ qù xuéxiào.	「私は学校へ行きます。」
我上课。 Wǒ shàng kè.	「私は授業に出ます。」
我在家里。 Wǒ zài jiāli.	「私は家にいます。」
我有词典。 Wǒ yǒu cídiǎn.	「私には辞書があります。」

「学校へ」「授業に」「家に」「辞書が」いずれも、中国語では、目的語として動詞の後ろに置かれています。さらに次のような例も、中国語では動詞＋目的語の組み合わせとされています。

这里有人。 Zhèlǐ yǒu rén.	「ここに人がいます。」
他是日本人。 Tā shì Rìběnrén.	「彼は日本人です。」

1つ目の例は、“这里”（ここ）が主語、“有”（ある）が動詞、“人”（ひと）が目的語です。2つ目の例は、“他”（かれ）が主語、“是”（です）が動詞、“日本人”（日本人）が目的語です。英語の文法用語では、“He is a Japanese.” の a Japanese は補語と呼ばれていますが、中国語の文法では、それに相当するものも目的語と呼ばれています。

4. 修飾語と被修飾語

基本の文型「主語＋述語」「動詞＋目的語」をマスターすれば、かなりの表

現ができるようになりますが、修飾語を加えれば、より複雑な文型を組み立てられるようになります。まずは簡単な例を見てみましょう。

这里有一个。 Zhèlǐ yǒu yí ge rén.

「ここに人が一人います。」

我买了一本书。 Wǒ mǎile yì běn shū.

「私は本を一冊買いました。」

上の例では、目的語に“一个”（一人）“一本”（一冊）のような修飾語がついています。数量詞が名詞を修飾している例です。必ず「修飾語」が「被修飾語」よりも前に来ます。

她是我的朋友。 Tā shì wǒ de péngyou.

「彼女は私の友人です。」

我买了一件很漂亮的衣服。 Wǒ mǎile yí jiàn hěn piàoliang de yīfu.

「私はとてもきれいな服をひとつ買いました。」

这是我买的票。 Zhè shì wǒ mǎi de piào.

「これは私が買った切符です。」

だいたい文が長くなってきました。どれが修飾語だか分かりますか？ 1つ目の例は、“我的”（私の）が修飾語。2つ目の例では“一件”（一着の）と“很漂亮的”（とてもきれいな）が修飾語。3つ目の例では“我买的”（私が買った）が修飾語。名詞句・形容詞句・動詞句や文が名詞を修飾するとき、“的”をはさんで修飾する点がポイントです。いずれも修飾語を被修飾語の前に置きます。

英語では、修飾語が被修飾語の前に来るとは限りません。たとえば、

This is the ticket (that) I bought yesterday.

「これは私が昨日買った切符です。」

このように、英語では、文が名詞を修飾するとき、関係代名詞を用いて、後ろから名詞を修飾する必要があります。中国語には関係代名詞はありません。必ず“的”を用いて前から修飾します。

「今日」や「昨日」のような、日時を表す語句が動詞を修飾する文では、どういう語順になるのでしょうか。次の例を見てみましょう。

我昨天回来了。 Wǒ zuótiān huílai le.

「私は昨日帰ってきました。」

我今天去打工。 Wǒ jīntiān qù dǎgōng.

「私は今日アルバイトに行きます。」

1つ目の例では、“昨天”（昨日）が動詞“回来”（帰ってくる）を修飾しています。2つ目の例では、“今天”（今日）が動詞“去”（行く）を修飾しています。やはり、修飾語が被修飾語よりも前に置かれています。英語では、yesterday や today のような単語が、文の最初に來たり、末尾に來たりと、位置はかなり自由です。中国語とは異なりますね。

5. 動詞と補語

おそらく1年生で習う文法のうち、もっとも「よく分からない」と感じさせてしまうのは、この「補語」に関する文法だと思います。「結果補語」「方向補語」「可能補語」など、種類も多く、よく理解できないまま通り過ぎてしまう人も多いでしょう。

1年生のときに、おそらく最初に習う補語は、結果補語です。いくつか例を見ながら、ポイントをつかんでいきましょう。

我吃完了。 Wǒ chīwán le. 「私は食べ終わりました。」

我喝醉了。 Wǒ hēzuì le. 「私は酔っぱらいました。」

1つ目の例では、動詞“吃”（食べる）に結果補語“完”（終わる）が付いています。結果補語の特徴は、「動詞＋結果補語」が組み合わさって、一つの

複合動詞のようなものになる点です。日本語の「食べ終わる」と同じような感覚でかまいません。2つ目の例では、動詞“喝”（飲む）に結果補語“醉”（酔う）が付いています。日本語では「飲み酔っぱらう」という複合動詞はありませんが、中国語では「動詞＋結果補語」の形で表現するのが普通です。方向補語も、結果補語と非常に似ています。たとえば、

我回来了。 Wǒ huílai le.	「私は帰ってきました。」
他出去了。 Tā chūqu le.	「彼は出かけました。」

1つ目の例では、動詞“回”（帰る）に方向補語“来”（来る）が付いています。結果補語と同様に、「動詞＋方向補語」が組み合わさって、一つの複合動詞のようなものになります。日本語の「帰ってくる」も同じですね。2つ目の例では、動詞“出”（出る）に方向補語“去”（行く）が付いています。日本語でも「出て行く」と言います。

結果補語も方向補語も「複合動詞のようなもの」である——これが補語を学ぶときのポイントです。

おそらく教科書には、いま挙げた結果補語や方向補語のほかに、いくつもの補語が出てくると思います。ここでは全てを詳述することはしません。補語によっては、結果補語や方向補語とはかなり性質の異なるものも存在します。新しい種類の補語が出てきたら、そのつど「複合動詞のようなもの」という理解でいいのか、それとも「ちょっと性質が違う」と理解した方がいいのか、時間をかけて、ゆっくりと観察していきましょう。きっと中国語の文法の面白さを感じることができると思います。

6. おわりに

1年生で習うであろう文法のいくつかを駆け足でながめていきました。始めたばかりの段階では、説明を読んでも、よく分からなかった点があったと思います。学校で中国語を習うメリットは、気軽に質問ができる教師がいることです。教室という空間は、独学では得られない恵まれた学習環境を提供してくれます。大学で新しい外国語を学び、自分の心の中に新しい窓を開いてくれたらと、願っています。

中国語の辞書

外国語を学ぶとき、最初の入り口では、辞書は必ずしも必要ありません。教科書には発音が記され、意味は教師が解説してくれるので、辞書を引かなくとも、とりあえずは勉強に支障はありません。

しかし、入り口を過ぎて、ある段階までいくと辞書が必要になります。知らない単語は辞書を引いて調べ、自分で中国語を日本語に訳す練習をしなければ、外国語は上達しません。中級以上のレベルでは「辞書をどれだけ使いこなせるかによって、外国語の実力が決まってしまう」と言っても過言ではありません。

大学で中国語を学ぶときも、1年生の前期が終わるころ、夏休み過ぎまでには、しっかりとした辞書を手元に備えたいものです。

書店に行くと、英語ほどではありませんが、中国語も数多くの種類の辞書が並び、さて、どの辞書を選んだらいいか、迷ってしまいます。また、最近では、紙の辞書ではなく、電子辞書を使用する人が増えました。日本で広く使われている中国語の辞書を、その特徴や使用法にも触れながら、

1. 中国語→日本語の辞書
2. 日本語→中国語の辞書
3. 中国語→中国語の辞書
4. 特殊な辞書
5. 電子辞書

の順番で紹介していきます。どの辞書を買うべきか、参考にしてください。(値段はすべて消費税抜きの価格で示しました。)

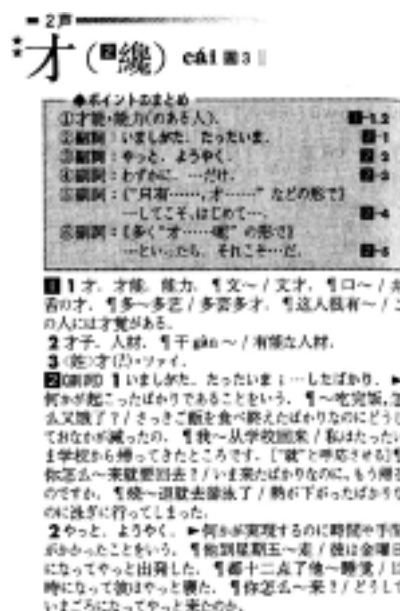
1. 中国語→日本語の辞書

中国語の学習者が、まず最初に必要な辞書は、「中国語→日本語」の辞書です。1年生のうちは、ややもすると、値段の安い小さな辞書を買いたいと思うかもしれません。しかし、小さな辞書では、2年生レベ

ルで、すぐに役立たなくなってしまう。英語の辞書と比べて値段が高く、買うのに勇気がいりますが、ここは最初が肝心です。しっかりとした大きな辞書を購入しましょう。

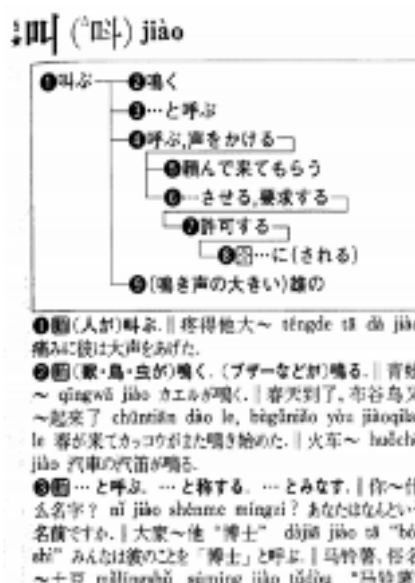
① 中日辞典（小学館，第2版） 6300 円

小学館と中国の商務印書館の共同編集。語彙数も豊富で、用例や説明もしっかりしており、上級レベルの人でも永く使える。ただ、品詞の表示がない、例文には発音が示されない、文法や用法の解説が詳しすぎるなど、初級レベルの人には難しく感じる面もあるかもしれない。



② 講談社中日辞典（講談社， 第2版）6500 円

語彙数では①に少し劣るが、全ての例文に発音表記がつくなど、初級レベルの人にも使いやすい設計になっている。語義が多岐にわたる親字には、右図のような「派生語ツリー」で語義間の関係が示される。



③ 東方中国語辞典（東方書店）

5000 円

上記①②に比べると、語彙数は少なく、中級レベルまでの人をターゲットにした学習辞典。動詞や機能語の用法、類義語の区別などに、数多くのマニアックな工夫が凝らされている。

④ クラウン中日辞典（三省堂）

4000 円、小型版 2800 円

これも、中級レベルまでの人をターゲットにした学習辞典。印刷が見やすく、引きやすい辞書という印象を受ける。安価なのも魅力。さらに語彙を強化した「超級クラウン中日辞典」も出版されている。

⑤ 白水社中国語辞典（白水社）

8000 円

上級者向け。語彙数は決して多くないが、基本語彙を中心に、詳細な解説と豊富な用例を挙げる。中国語を日本語に訳していて、うまい訳語が見つからないとき、この辞書から大きなヒントが得られることも多い。

拉 **lā** ①[動]引く、引っ張る。②把孩子～过来/子供を引っ張って連れてきて ③把我～住/彼女が私の手を引っつかんで言った ④快～他一把/早く彼を引っ張って ⑤手～着手/手をつないで ⑥把他～到一边去/彼を端に引っ張っていく、⑦[動]（車で）運ぶ。⑧快～早去/早く車を出して会場を運びなさい ⑨家具太多、一车～不了/家具が多すぎて、1台では運びきれない、⑩[動]（楽器を）弾く、奏でる。⑪～小提琴/バイオリンを弾く ⑫～京胡/胡弓を弾く ⑬～手风琴/アコーディオンを弾く ⑭～一支曲子/1曲奏でる、⑮[動]引き伸ばす、長く伸ばす。⑯～长跑/歌の節を長く引き伸ばして歌う ⑰两个长跑运动员同时距离渐渐～大了/2人のマラソン選手の距離が徐々に開いた ⑱小故事的材料就不要～成大故事

晚 **wǎn** 日部 7 画 ④ 6701

①〈名〉夜、②～飯 wǎnfàn/～会 wǎnhuì/今～ jīnwǎn 〈今晚〉/从早到～(朝から晩まで)、③早 zǎo、④〈形〉遅れている、遅い、⑤来～了 〈来るのが遅れた〉/时间～了 〈時間が遅くなった〉⑥早 zǎo、⑦〈数〉終りに近い、⑧～秋 wǎnqiū 〈晩秋〉/～年 wǎnnián、⑨早 zǎo、⑩〈素〉後から来た、⑪～家 wǎnbéi/～晚 wǎnniàng、⑫〈素〉先輩に対する自称、⑬(Wǎn)姓、⑭⑮⑯は手紙で用いる。
【晩安】wǎn'ān 〈動〉おやすみなさい、⑰直声～、就寝前休息了/おやすみと言うと、部屋に入って休んだ、⑱⑲ 夜別れる時のあいさつとは、
【晩班】wǎnbān 〈名〉夜勤、運音、⑳上～/夜勤をする、
【晩半晌儿】wǎnbǎnshǎngr 〈名〉夕方、日暮れどき、

来 **lái** ①[動]（来）
来る。やってくる。→ 去、往、②客人～了。= 客が来た。/ 你从哪～？ [“从”+名+] = 君はどこから来たか？ / 他什么时候到这～？ [“到”+名+] = 彼はいつここへやってくるの？ / 他今天～了两次。〔+日(数量)〕= 彼は今日2度やって来た。/ 他～了三个月了。= 彼はやって来て3か月になる。/ 他明天～大阪。〔+日(場所)〕= 彼は明日大阪に来る。/ 昨天～了几个客人。〔主(時間)+～+～+le+日(動作主)〕= 昨日(予想しなかった不足の)客が何人かやって来た。/ 前面～了一个人。〔主(場所)+～+～+le+日(動作主)〕= 前から(予想しなかった不足の)誰かがやって来た。/ ～客人了。〔+日(動作主)〕= (予想しなかった不足の)客がやって来た。
②[動] (別の場所にいる人から) “ここへいらっしゃい”と呼ばれて、 “すぐ行きます” などと答える場合の) 行く。③ 来～吧。= 来い。= いらっしゃい。= ええ、すぐ行きます。④ [動] (問題・事情・事象などが) やってくる。起くる。発生する。⑤ 下个月的生任务～了。= 来月の生産任務が来た。/ 春天～了。农民们忙起来了。= 春がやって来て、農民たちは忙しくなってきた。/ 问题～得太突然。〔+de補〕= 問題の発生があまりにも突然である。/ 一下子～了这么多事情。〔+日〕= いっぺんにこんなに多くの事が押し寄せた。⑥ [動] (人に呼びかけて何かをすることを促し) 来る。⑦ ～，坐一会儿。= 来、ちょっとお掛けなさい

2. 日本語→中国語の辞書

身近な日本語を中国語で言ってみたく、教科書に出ていない単語や表現なら、自分で日中辞典を引いてみましょう。最初のうちは、簡単な名詞を調べてみる程度かもしれませんが、中級以上になると、類義語をきちんと区別して、いかに中国語らしい表現を組み立てられるかが、学習者の腕の見せ所となります。

⑥ 日中辞典（小学館，第2版）

7000 円

語彙の多さ、用例の豊富さ、いずれも他の日中辞典をしのぐ。小学館の辞書①と同様に、上級レベルの者でも永く使えるだろう。例文には原則として発音の注記はない。

きる【切る・伐る・斬る・截る】**■**①〔各種の道具・方法で切断する〕▶中国語では、道具、動作の形、動作の対象などにより動詞が分かれる。〔ナイフ・包丁・メスなどで〕切 qiē; 〔はさみで〕剪 jiǎn, 絞 jiāo ②〔のこぎりで〕锯 jù; 〔革などを削り削して〕刮 guā; 〔なたなどでたたくように〕剁 duò; 〔上から真っ二つに〕劈 pī; 〔対り取る、切り取る〕割 gē; 〔こするようにして〕划 huá; 〔長いものを〕截 jié, 断 duàn; 〔切り開く〕削 pōu; 〔生命を奪う〕杀 shā, ③薄く〜 / 薄薄地切。④細かく〜 / 切碎; 剁碎。⑤二つに〜 / 切成两个; 切断。⑥短く〜 / 截短; 切短。⑦はさみで〜 / 用剪子「剪」(剪)。⑧髪を〜 / 剪发 fà。⑨切符を〜 / 剪票。⑩石を〜 / 凿石头。⑪肉を〜 / 切肉。⑫包丁で野菜を〜 / 用菜刀切菜。⑬首を〜 / 斩首; 砍头。⑭腰を〜 / 剖腹 pōufu。⑮盲腸を〜 / 切除盲肠。⑯木を〜 / 伐木; 砍树。⑰爪を〜 / 剪指甲 zhǐjiǎ。⑱木の枝を〜 / 剪树枝。⑲腫れものを〜 / 切开脓肿 zhōngpǔ。⑳團伊裏が切っている / 团伊里切。㉑縄が長すぎるので少し切ってください / 绳子太长, 请给截下去一点。

⑦ 講談社日中辞典（講談社）

7000 円

語彙数・用例数では⑥に劣るが、すべての用例に発音が注記されるなど、初級レベルの者にも使いやすい設計になっている点で、講談社の辞書②と同じ特徴を持つ。

き・る【切る・伐る・斬る】**■**①〔刀物で〕切 qiē; 截 jié. (薄い物を)裁 cāi. (はさみで)剪 jiǎn. (おのなどで)砍 kǎn. (のこぎりで)锯 jù. ◆のこぎりで板を〜 / 用锯子把木板锯开 yòng jùzi bǎ mùbǎn jiànkāi. ◆ナイフでうっかり手を〜 / 不小心被小刀割破了手 bù xiǎoxīn bèi xiǎodāo gēpòle shǒu. ◆布を〜 / 裁布 cái bù. ◆はさみで紙を〜 / 用剪刀剪纸 yòng jiǎndāo jiǎn zhǐ. ◆爪を〜 / 剪指甲 jiǎn zhǐjiǎ. ◆この包丁では肉が薄く〜れない / 这把刀切不了薄片 zhè bǎ dāo qiébùliǎo báo ròupiàn. ◆おので木を〜り倒す / 用斧子把树砍倒 yòng fǔzi bǎ shù kǎndǎo. ◆身を〜るような寒さだ / 刺骨的寒冷 cǐgǔ de hánlěng. ◆〜ったはったの大立ち回りを演じる / 拳打脚踢, 表演武打戏 quán dǎ jiǎo

3. 中国語→中国語の辞書

中国語を本気で物にしようと思ったら、ぜひ中国語を中国語で解説した辞書を使ってみたい。漢字の発音を確かめるだけでもいい。中国語に自信がついてきたら、中国語で単語の意味を探ってみよう。日本語を介さずに、その言語で思考し理解するという作業は、外国語を学習する上で、とても大事な意味を持っています。日本では神保町などにある中国書籍専門書店で購入できます。

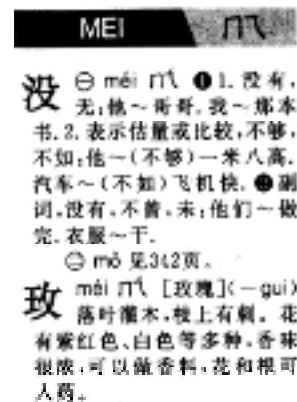
⑧ 現代漢語詞典（第5版、商務印書館） 68 元。

中国の辞書といえば、まずこの現代漢語詞典をきちんと引けるようになりたい。第5版になって、収録語彙が見直され、品詞が注記されるなど、大幅に記述が改善された。日本での販売価格は 4000 円ほど。



⑨ 新華字典（第10版、商務印書館） 15 元。

これは、単語を解説することを目的とした「詞典」ではなく、字を解説することを目的とした「字典」です。漢字ひとつひとつに、規範的な字形・発音を示し、基本的な語義を記す。ポケットサイズ。日本での販売価格は 1000 円ほど。



4. 特殊な辞書

教科書を離れ、なまの中国語、たとえば実際に中国で発行された新聞・雑誌などを読むとき、単に単語や文法の知識だけでは、中国語を読みこなすことはできません。彼らの伝えたい情報を読み解くには、中国の社会・政治・経済・地理・歴史など、言葉の背景に横たわる様々な知識を総動員する必要があります。普通の辞書に出ていない単語に出会ったのなら、ぜひ次のような辞書を引いてみてください。

⑩ 中日辞典 新語・情報篇（小学館）

3800 円

新語・流行語や固有名詞・専門用語などを中心に、大陸・台湾・香港の語彙を収録。語彙数 2 万。次の⑪に比べて、地名・人名・企業名・ブランド名などの固有名詞を比較的多く収録する。

wēnbǎo gōngchéng【温饱工程】貧困地区の衣食問題を解決するための政府プロジェクト ⇒ 中国では“温饱”（衣食がいちおう満ち足りている状態）の次の社会段階を“小康 xiǎokāng”ととらえる ⇒ 小康社会 xiǎokāng shèhuì
wēnbǎoxiàn【温饱线】最低生活収入ライン ⇒ 貧困の基準は農家 1 人あたりの純収入で算出され、“特困 tēkùn 线” “温饱〔貧窮〕线” “发展〔脱贫〕线” “小康 xiǎokāng 线” “富裕 fùyù 线” の順に数値が高くなる
Wēnbóge【温伯格】(英) ワインバーガー (1917-2006) ⇒ 米政治家 ★ Weinberger
Wēnbù'ěrdēng【温布尔登】(英) (英) ウィンブルドン ★ Wimbledon

⑪ 現代中国語新語辞典（講談社）

3200 円

この辞書も、新語・流行語や固有名詞・専門用語などを収録。語彙数 1 万 3 千。上の⑩に比べて、ここ数年に現れた新語・流行語を比較的多く収録する。

【温爱】wēn'ài [名] 優しい愛情。『这对情侣几十年来深藏心底的～最终获得美好的结局/このカップルの数十年来心の底にしまっておいた優しい愛情が、幸せな結末を迎えた。』
【温安洛】Wēn'ānlò [固] アンデル。(アメリカ 米国商業会議所会頭、アムウェイ社会長) Steve Van Andel.
【温饱工程】wēnbǎo gōngchéng [名] 貧困地域の衣食住問題を解決する政府プロジェクト。
【温饱线】wēnbǎoxiàn [名] 人間が生活するのに必要な最低限の収入ライン。『生活在～以下/生活状态が最低ラインを下回る。』
【温饱型】wēnbǎoxíng [名] 最低ラインの衣食住の類型。『由～转入小康型/生活 that 最低ラインからまずまずの生活水準へと変化する』

⑪ 岩波現代中国事典（岩波書店）

6600 円

これは、「辞典」ではなく「事典」です。現代中国の政治・経済から生活・風俗まで幅広くあつかう。各項目について歴史的背景を踏まえた詳細な解説がなされており、中国の今を読み解くための必携の百科事典といえる。中国関連のレポートを書くときの下調べに使おう。

香港返還 香港回归; 香港归还
Xiānggǎng huíguī; Xiānggǎng guīhuán
香港の中国への復帰。中国側から見れば“香港回収”。

〔返還前史〕 香港の領域の大部分を占める“新界地区は割譲地ではなく租借地(1898年から99年間の租借)であり、1997年6月30日をもって租借条約は期限満了となった。これが、中英が香港の返還問題を議論せねばならない背景であった。戦前の香港回収の好機は皮肉なことに日本の香港占領であった。連合国の一員として迎えられた中華民国に対して、米国は英国を“不平等条約撤廃の交渉のテーブルに就かせた。しかし、英国は不平等条約の撤廃に同意したものの、租借地新界の返還を渋った。一方、米国は米ソ英のヤルタ会談(46年)でソ連に中国東北方の特殊權益を容認してしまった。このため、米国は英国の香港再領有を拒絶することは難しく、大国のパワーゲームのなかで香港回収は頓挫し

5. 電子辞書

電子辞書には、紙の辞書にはない特徴があります。長所としては、紙の辞書に比べて大きさの制約が事実上無く、多数の辞書を一つの機器に盛り込むことができ、軽くて持ち運びに便利。短所としては、画面が狭く、視野に入る情報量が少ないため、重要な情報を読み落としてしまうことが多い。これらの特徴は、中国語に限らず、英語の電子辞書にも同じことが当てはまります。

ところが、中国語の紙の辞書と電子辞書の間には、他の言語にはない大きな違いがあります。それは、語彙の配列方式です。紙の辞書は、「親字」から「熟語」へという、アルファベット順の「漢和辞典」形式となっているのに対し、電子辞書は、親字・熟語の区別なく、一律にアルファベット順に配列される「英和辞典」形式となっています。どちらが便利かは、意見が分かれるところですが、形式の違いを知らないと、探している単語が見つからず、戸惑うことになってしまいます。

紙の辞書の配列順

[中] zhōng
 中巴 zhōngbā
 中餐 zhōngcān
 [钟] zhōng
 钟爱 zhōng'ài
 钟表 zhōngbiǎo

電子辞書の配列順

中 zhōng
 钟 zhōng
 钟爱 zhōng'ài
 中巴 zhōngbā
 钟表 zhōngbiǎo
 中餐 zhōngcān

中国語の電子辞書は、カシオ・キヤノン・シャープなど、いくつかのメーカーが製造しています。いずれも、紙の辞書をほぼそのまま収録しており、それぞれの語彙数や用例・解説の特徴は、紙の辞書の特徴をそのまま引き継いでいます。「どのメーカーの辞書か？」ではなく、「どの出版社の辞書を収録しているか？」を電器店で確認して購入しましょう。

⑫ カシオ「EX-Word」中国語モデル

小学館 ①「中日辞典」⑥「日中辞典」を収録。上位機種では大修館「中日大辞典」も収録。



⑬ キヤノン「wordtank」中国語モデル

講談社 ②「中日辞典」⑦「日中辞典」を収録。上位機種では大修館「中日大辞典」や中国の商務印書館 ⑧「現代漢語詞典」も収録。



いずれも、店頭での実勢価格は、2万円～4万円ほど。機種により値段は異なり、値段の高い上位機種ほど、充実した機能を持っています。とくに、**手書き文字を認識**できる機能を持つ機種をおすすめします。3～4年生になると、授業で使う教材にはピンインの発音表記がなくなり、漢字だけの中国語を読めるようにならなくてはなりません。発音が分からないとき、普通の機種では部首索引や画数索引で漢字を探しますが、電子辞書でこれをやるのは面倒です。ペンでパネルをなぞり、手書き検索によって漢字を探す方が、ずっと速く文字を探すことができます。

実際に使用してみると、機種によって、少しずつ操作法が異なることに気がつきます。単語を引いても、まずは語釈が表示されるだけです。用例を表示するためには、さらにボタンを押すなどの操作が必要になります。私の印象では、カシオ EX-word シリーズのボタン操作法が一番わかりやすいと感じました。店頭で実際に操作してみて、自分のフィーリングに合うかどうか、確認することをお勧めします。



パソコンで中国語

みなさんのなかには、大学に入学して、新たにパソコンを購入された方も多いと思います。インターネットで情報を収集し、ワープロソフトで文章を書く。パソコンは大学生に必須の知的ツールです。日本語と英語のほかに、中国語ができれば、みなさんの知的ツールの窓を、より広く開くことが出来るでしょう。ここでは、パソコンの標準的 OS である Windows で中国語を利用するテクニックを紹介します。

1. 中国語のホームページを見るには？

現在の Windows は、はじめから多言語の使用を意識した設計になっています。中国のホームページを閲覧するだけなら、とくに設定を変更する必要はありません。論ずるより実行です。まずは、中国のホームページにアクセスしてみましょう。

人民網 <http://www.people.com.cn/>

このアドレスを Internet Explorer で開いてみましょう。うまく開けたでしょうか？文字化けせずに、きちんと中国語で表示されるはずですよ。



このホームページ「人民網」は《人民日報》などを発行している人民日報社が開設しているものです。ここからリンクをたどると、その日の《人民日報》の記事を閲覧することができます。中国に行かなくとも、その日の中国の新聞を日本で読むことができるのです。

さあ、どんなニュースが報道されているのでしょうか？ 中国国内では、どんな事件・事故が起きたのでしょうか？ 日本のことは話題になっていますか？ テレビや芸能のニュースも探してみましょう。

2. 中国語（簡体字）を入力するには？

中国語を表示するだけなら特に設定は必要ありませんが、中国語を入力するためには、一定の準備が必要です。以下の手順に従って、中国語の IME を設定しましょう。

① まず「コントロールパネル」の「キーボードまたは入力方法の変更」を開いてください。下の図のようなダイアログが表示されます。

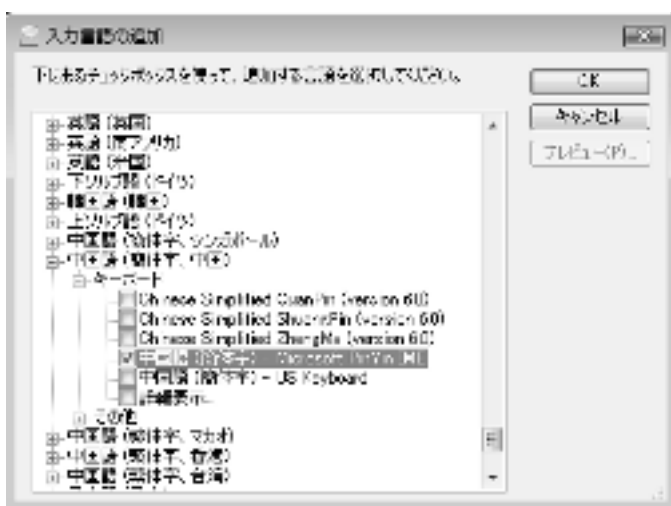


そのなかの「キーボードの変更」をクリックしてください。「テキストサ

ービスと入力言語」という設定ダイアログが現れるはずです。このダイアログの下のツリー表示「インストールされているサービス」の中に、中国語のIMEを加えていけば、中国語の入力が可能になります。



② この「テキストサービスと入力言語」ダイアログの右側の「追加」をクリックしてください。「入力言語の追加」ダイアログから、「中国語(簡体字、中国)」→「中国語(簡体字)－Microsoft Pinyin IME」を探して、チェック(✓)を入れてください。OK を押せば、設定完了です。



③ さあ、これで中国語 IME の設定が終わりました。あとは実際に入力するだけです。入力するときの操作法についても見ておきましょう。ために、検索サイト Google から中国語のキーワードを検索してみます。

Google (谷歌) <http://www.google.com/intl/zh-CN/>

このアドレスを Internet Explorer で開いてください。キーワードを入力する前に、画面右下の言語バーの「JP」と書いてあるアイコンをクリックし、「CH 中国語(中国)」を選んでクリックしてください。さっきまでの「JP」が「CH」に変わりましたか？ これでピンインによる中国語入力が可能になります。このとき、右下の入力モードが「英」になっていたら、クリックして「英」を「中」に変えてください。あなたの検索したいキーワードを入力できるはずです。

下の画面は、中国語 IME で Guoxueyuan と入力したところです。入力はローマ字だけです。声調符号は必要ありません。どんな漢字の候補が上がっていますか？ たいいていは適切な漢字が第一候補に挙がるので、選択する必要は普通ありません。間違った漢字が出たら、正しい漢字を数字で選択してください。どんどんローマ字を入力していけば大丈夫です。



自分の関心のあるキーワードで、検索をかけてみましょう。中国語による

情報収集の第一歩です。

3. 中国語（繁体字）を入力するには？

ここまでに紹介したのは、簡体字での表示・入力です。中国語で使われる漢字には、簡体字と繁体字の2種類があります。簡体字は略字を主体とした新字体、繁体字は昔からの旧字体です。大陸やシンガポールでは簡体字が使用されていますが、台湾・香港では繁体字が使用されています。

パソコンで繁体字を入力するには、どうしたらいいのでしょうか？ 繁体字用の IME を設定する必要があります。

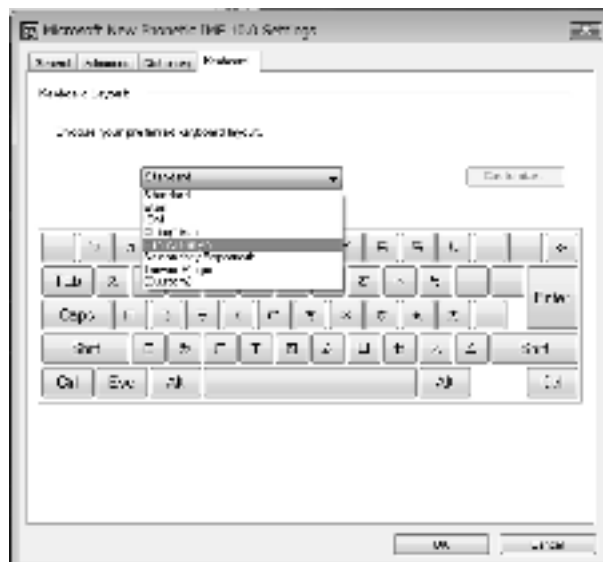
① さきほどと同様に「コントロールパネル」→「キーボードまたは入力方法の変更」→「キーボードの変更」とたどっていったら、「テキストサービスと入力言語」ダイアログを開き、右側の「追加」をクリックして「入力言語の追加」ダイアログを開いてください。図のように、「中国語（繁体字、台湾）」→「中国語（繁体字）- New Phonetic」を探して、チェック（✓）を入れ、OK を押してください。



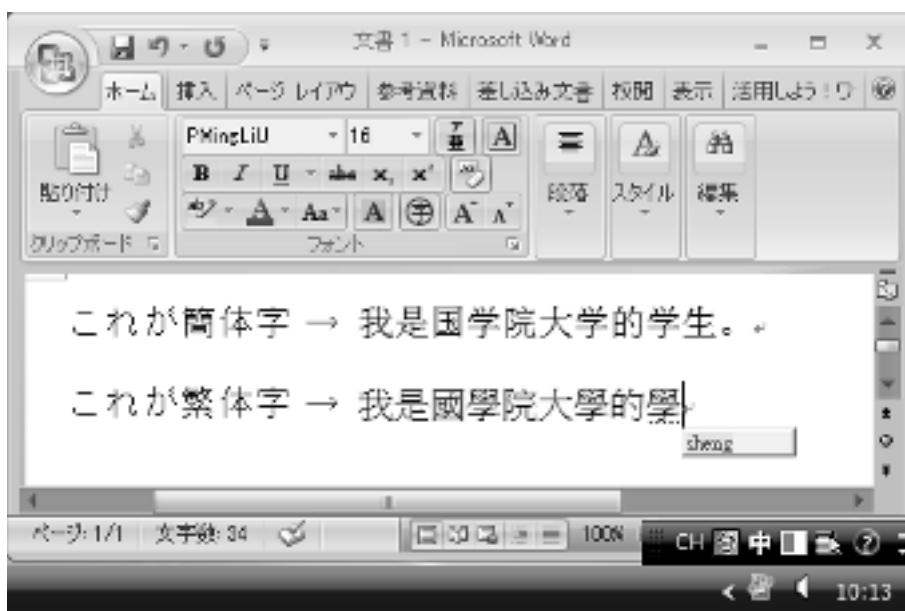
② この IME は、そのままでは、注音符號という特殊な文字で入力する設定になっています。ピンインローマ字で入力できるようにするためには、設定を変更する必要があります。



上の図のように、中国語繁体字の IME 「中国語(繁体字)－New Phonetic」を選択して、右のプロパティのボタンを押してください。下の図のような画面が出るはずですが、この**Keyboard**のページで、入力方法に「Han Yu Pinyin」を選び OK を押してください。これで、ピンインで繁体字の入力ができるようになるはずですが。



下の図は、繁体字用の IME で文章を入力しているところです。文字の字体が、簡体字と繁体字とでは異なりますね。



ワープロで中国語を入力するときは、フォント名にも注意が必要です。簡体字なら SimSun、繁体字なら PMingLiU というフォントを使います。日本語用の MS 明朝では、中国語とは異なる字体が表示されてしまいます。

繁体字用の Google は次のアドレスです。

Google (谷歌) <http://www.google.com/intl/zh-TW/>

おなじ Google でも、簡体字と繁体字とでは、検索されるホームページが微妙に異なってきます。繁体字で検索すれば、台湾や香港の繁体字のホームページが優先して表示されます。いろんな検索キーワードで試してみることをお勧めします。

4. 便利なアドレス帳

知っておくと便利なアドレス帳です。海外のホームページは、ごくまれにウイルスに感染していることがあります。ウイルス対策ソフトをしっかりとインストールした上で、アクセスしましょう。

① 検索サイト

百度 (Baidu) <http://www.baidu.com/>

日本では Google が人気がありますが、中国では「Baidu」という検索サイトがよく利用されています。

② テレビ局・ラジオ局

中国中央電視台 <http://www.cctv.com/>

中国中央電視台（直播中国） <http://bugu.cntv.cn/>

中国を代表するテレビ局。「直播中国」のページから、現在放映中の映像をインターネットで見ることができます（動画の配信はネットワークに大きな負担がかかるので注意！）。

北京人民廣播電台 <http://www.rbc.cn/>

北京人民廣播電台（実時广播） <http://listen.rbc.cn/>

北京のラジオ局。「実時广播」のページから、いま放送中のラジオをリアルタイムで聞くことができます。

③ 新聞社

京報網 <http://www.bjd.com.cn/>

新民網 <http://www.xinmin.cn/>

「京報網」は、北京の新聞《北京日報》《北京晚報》を発行する新聞社のホームページ。「新民網」は、上海の新聞《新民晚報》を発行する新聞社のホームページ。いずれも人民日報とは異なる視点で、それぞれの都市の庶民向けニュースを発信しています。

聯合報 <http://udn.com/>

自由時報 <http://www.libertytimes.com.tw/>

中国時報 <http://news.chinatimes.com/>

台湾の新聞を3つ。大陸とは異なる視点でニュースをながめるのも面白いでしょう。

④ 百科事典

Wikipedia（維基百科） <http://zh.wikipedia.org/>

ウィキペディアの中国語版です。表示される文字（簡体字か繁体字か）は、ページ上の「大陸簡体」「台灣正體」をクリックして選ぶことができます。ウィキペディアには、この中国語（普通話）版のほかに、広東語（粵語）・上海語（吳語）・台湾語（Bân-lâm-gú）などの方言で記述されたページもあります。

中国語基本単語チェックシート

このシートの使い方

どの外国語もそうですが、単語だけは暗記するしかありません。みなさんも英語の勉強で、自分で単語カードを作ったり、試験の頻出単語をまとめた単語帳とにらめっこした経験があると思います。

中国語の単語は、「簡体字」「ピンイン」「意味」の 3 つをセットにして覚えます。最初のうちは、どうやって覚えたらいいのか不安になるかもしれませんね。単語を音読して、音のイメージをつかみながらピンインを覚え、簡体字を実際を書いてみて、少しずつ覚えるのが一般的ですが、もしも覚えられなくて困ったら、遠慮せずに担当の先生に勉強法を聞いてみてください。自分に合ったいい方法を、一緒に考えてくれるかもしれません。

中国語検定試験の 3 級に合格するには、だいたい 2000 個の単語を知っている必要があります。ただし、2000 個の中には、発音以外は漢字も意味も日本語と同じものや、ちょっとマニアックな単語も含まれています。

ここには、基礎から中級にかけて習う単語のうち、基本的なものを 1069 個選んであります。今年度の授業が終わったら、春休みの間に、自分がどれくらいの単語を覚えたかチェックしてみてください。1 年生の教科書には出ていない単語もありますが、半分くらいは見覚えがあるはずです。

簡体字とピンインを見て、単語の意味がわかったら、左の □ に ✓ を書き込みます。いくつ ✓ が付いたでしょうか。わからなかったものは辞書を引いて、少しずつ知っている単語を増やしていきます。特に①名詞・②代名詞・④動詞・⑥形容詞は、難しく考えずどんどん覚えてしまいましょう。

意味の確認ができれば、日本語から簡体字、ピンインから日本語、簡体字からピンインという具合に、自在に変換できるようにしていきます。慣れるまでは少し大変ですが、2 年生の夏頃までに、ここに出ている全単語の制覇を目標にしてください。これらの単語を正しく、自由自在に使えるようになれば、中国語での日常会話にあまり不便を感じなくなるでしょう。

① 名詞 366個

- ☐ 阿姨 āyí
- ☐ 爱人 àiren
- ☐ 爸爸 bàba
- ☐ 伯伯 bóbo
- ☐ 儿子 érzi
- ☐ 哥哥 gēge
- ☐ 孩子 háizi
- ☐ 姐姐 jiějie
- ☐ 舅舅 jiùjiu
- ☐ 姥姥 lǎolao
- ☐ 姥爷 lǎoye
- ☐ 妈妈 māma
- ☐ 妹妹 mèimei
- ☐ 奶奶 nǎinai
- ☐ 女儿 nǚér
- ☐ 亲戚 qīnqi
- ☐ 叔叔 shūshu
- ☐ 爷爷 yéye
- ☐ 丈夫 zhàngfu
- ☐ 报纸 bàozhǐ
- ☐ 棒球 bàngqiú
- ☐ 本子 běnzi
- ☐ 比赛 bǐsài
- ☐ 笔 bǐ
- ☐ 毕业 bìyè
- ☐ 表 biǎo
- ☐ 冰箱 bīngxiāng
- ☐ 玻璃 bōli
- ☐ 彩色 cǎisè
- ☐ 衬衫 chènshān

- ☐ 出租汽车 chūzū qìchē
- ☐ 传真 chuánzhēn
- ☐ 窗户 chuānghu
- ☐ 床 chuáng
- ☐ 错误 cuòwù
- ☐ 大衣 dàyī
- ☐ 大夫 dàifu
- ☐ 导游 dǎoyóu
- ☐ 地铁 dìtiě
- ☐ 地址 dìzhǐ
- ☐ 电视 diànshì
- ☐ 电梯 diàntī
- ☐ 电影 diànyǐng
- ☐ 电子邮件 diànzǐ yóujiàn
- ☐ 东西 dōngxi
- ☐ 肚子 dùzi
- ☐ 短信 duǎnxìn
- ☐ 对方 duìfāng
- ☐ 耳朵 ěrduo
- ☐ 翻译 fānyì
- ☐ 飞机 fēijī
- ☐ 粉笔 fěnbǐ
- ☐ 服务员 fúwùyuán
- ☐ 个子 gèzi
- ☐ 公共汽车 gōnggòng qìchē
- ☐ 公斤 gōngjīn
- ☐ 工厂 gōngchǎng
- ☐ 工人 gōngrén
- ☐ 公里 gōnglǐ
- ☐ 公司 gōngsī

☐ 工资 gōngzī
☐ 故事 gùshi
☐ 冠军 guànjūn
☐ 国际 guójì
☐ 寒假 hánjià
☐ 号码 hàomǎ
☐ 护士 hùshi
☐ 护照 hùzhào
☐ 画儿 huàr
☐ 机场 jīchǎng
☐ 机会 jīhuì
☐ 机器 jīqì
☐ 价钱 jiàqian
☐ 假期 jiàqī
☐ 胶卷 jiāojiǎn
☐ 脚 jiǎo
☐ 教练 jiàoliàn
☐ 节目 jiémù
☐ 节日 jiérì
☐ 经验 jīngyàn
☐ 句子 jùzi
☐ 卡片 kǎpiàn
☐ 开关 kāiguān
☐ 看法 kànfa
☐ 课 kè
☐ 课本 kèběn
☐ 课文 kèwén
☐ 客人 kèren
☐ 口袋 kǒudai
☐ 裤子 kùzi
☐ 快餐 kuàicān
☐ 筷子 kuàizi

☐ 垃圾 lājī
☐ 篮球 lánqiú
☐ 礼貌 lǐmào
☐ 礼品 lǐpǐn
☐ 邻居 línjū
☐ 零钱 língqián
☐ 领带 lǐngdài
☐ 老家 lǎojiā
☐ 录像 lùxiàng
☐ 录音 lùyīn
☐ 马路 mǎlù
☐ 毛病 máobìng
☐ 毛巾 máojīn
☐ 毛衣 máoyī
☐ 帽子 màozi
☐ 煤气 méiqì
☐ 梦想 mèngxiǎng
☐ 名片 míngpiàn
☐ 明信片 míngxìnpiàn
☐ 闹钟 nàozhōng
☐ 年级 niánjí
☐ 年纪 niánjì
☐ 排球 páiqiú
☐ 盘子 pánzi
☐ 朋友 péngyou
☐ 皮肤 pífu
☐ 皮鞋 píxié
☐ 票 piào
☐ 乒乓球 pīngpāngqiú
☐ 旗袍 qípáo
☐ 汽车 qìchē
☐ 汽水 qìshuǐ

☐ 汽油 qìyóu
☐ 铅笔 qiānbǐ
☐ 签证 qiānzhèng
☐ 钱 qián
☐ 钱包 qiánbāo
☐ 墙 qiáng
☐ 缺点 quēdiǎn
☐ 群众 qúnzhòng
☐ 裙子 qúnzi
☐ 人民币 rénmínbì
☐ 软件 ruǎnjiàn
☐ 嗓子 sǎngzi
☐ 沙发 shāfā
☐ 生意 shēngyì
☐ 声音 shēngyīn
☐ 绳子 shéngzi
☐ 圣诞节 Shèngdànjié
☐ 师傅 shīfu
☐ 时候 shíhou
☐ 事情 shìqing
☐ 收音机 shōuyīnjī
☐ 手表 shǒubiǎo
☐ 手机 shǒujī
☐ 手绢 shǒujuàn
☐ 手套 shǒutào
☐ 手续 shǒuxù
☐ 书包 shūbāo
☐ 书架 shūjià
☐ 暑假 shǔjià
☐ 树 shù
☐ 水平 shuǐpíng
☐ 司机 sījī

☐ 塑料 sùliào
☐ 岁数 suìshu
☐ 态度 tàidu
☐ 毯子 tǎnzi
☐ 题目 tí mù
☐ 铁路 tiělù
☐ 同事 tóngshì
☐ 同学 tóngxué
☐ 童年 tóngnián
☐ 头 tóu
☐ 头发 tóufa
☐ 腿 tuǐ
☐ 袜子 wàzi
☐ 晚报 wǎnbào
☐ 晚会 wǎnhuì
☐ 网球 wǎngqiú
☐ 围巾 wéijīn
☐ 味道 wèidao
☐ 味儿 wèir
☐ 文件 wénjiàn
☐ 文艺 wényì
☐ 午觉 wǔjiào
☐ 舞蹈 wǔdǎo
☐ 西方 xīfāng
☐ 西服 xīfú
☐ 先生 xiānsheng
☐ 线 xiàn
☐ 香皂 xiāngzào
☐ 箱子 xiāngzi
☐ 想法 xiǎngfǎ (xiǎngfǎ)
☐ 橡皮 xiàngpí
☐ 消息 xiāoxi

☐ 小孩儿 xiǎoháir
☐ 小姐 xiǎojiě (xiǎojiě)
☐ 小卖部 xiǎomàibù
☐ 小时 xiǎoshí
☐ 小提琴 xiǎotíqín
☐ 小偷 xiǎotōu
☐ 笑话 xiàohua
☐ 鞋 xié
☐ 新闻 xīnwén
☐ 心情 xīnqíng
☐ 信 xìn
☐ 信封 xìnfēng
☐ 信心 xìnxīn
☐ 星星 xīngxīng
☐ 行李 xínglǐ
☐ 姓 xìng
☐ 姓名 xìngmíng
☐ 幸运 xìngyùn
☐ 兴趣 xìngqù
☐ 熊猫 xióngmāo
☐ 牙齿 yáchǐ
☐ 牙膏 yágāo
☐ 牙刷 yáshuā
☐ 烟 yān
☐ 盐 yán
☐ 颜色 yánsè
☐ 演员 yǎnyuán
☐ 眼睛 yǎnjīng
☐ 眼镜 yǎnjìng
☐ 眼泪 yǎnlèi
☐ 样子 yàngzi
☐ 药 yào

☐ 钥匙 yàoshi
☐ 叶子 yèzi
☐ 一辈子 yíbèizi
☐ 医生 yīshēng
☐ 椅子 yǐzi
☐ 意思 yìsi
☐ 意义 yìyì
☐ 艺术 yìshù
☐ 音乐 yīnyuè
☐ 樱花 yīnghuā
☐ 邮局 yóujú
☐ 邮票 yóupiào
☐ 游戏 yóuxì
☐ 游泳池 yóuyóngchí
☐ 雨衣 yǔyī
☐ 圆珠笔 yuánzhūbǐ
☐ 愿望 yuànwàng
☐ 约会 yuēhuì
☐ 月亮 yuèliang
☐ 月票 yuèpiào
☐ 云 yún
☐ 运动员 yùndòngyuán
☐ 杂志 zázhì
☐ 灾害 zāihài
☐ 站台 zhàntái
☐ 照片 zhàopiàn
☐ 照相机 zhàoxiàngjī
☐ 枕头 zhěntou
☐ 职员 zhíyuán
☐ 桌子 zhuōzi
☐ 自行车 zìxíngchē
☐ 足球 zúqiú

☐ 嘴 zuǐ
☐ 左右 zuǒyòu
☐ 座位 zuòwèi
☐ 作业 zuòyè
☐ 白天 báitiān
☐ 春节 chūnjié
☐ 春天 chūntiān
☐ 春夏秋冬 chūnxiàqiūdōng
☐ 刚才 gāngcái
☐ 后来 hòulái
☐ 后年 hòunián
☐ 后天 hòutiān
☐ 大后天 dàhòutiān
☐ 今后 jīnhòu
☐ 今年 jīnnián
☐ 今天 jīntiān
☐ 近来 jìnlái
☐ 明年 míngnián
☐ 明天 míngtiān
☐ 年底 niándǐ
☐ 平时 píngshí
☐ 去年 qùnián
☐ 前年 qiánnián
☐ 前天 qiántiān
☐ 上午 shàngwǔ
☐ 晚上 wǎnshang
☐ 下午 xiàwǔ
☐ 星期 xīngqī
☐ 以后 yǐhòu
☐ 以前 yǐqián
☐ 月底 yuèdǐ
☐ 早上 zǎoshang

☐ 中午 zhōngwǔ
☐ 周末 zhōumò
☐ 昨天 zuótiān
☐ 北边 běibiān
☐ 东南西北 dōngnánxīběi
☐ 对面 duìmiàn
☐ 附近 fùjìn
☐ 楼上 lóushàng
☐ 楼下 lóuxià
☐ 旁边 pángbiān
☐ 前面 qiánmian
☐ 前后左右 qiánhòuzuǒyòu
☐ 上边 shàngbian
☐ 上下里外 shàngxiàlǐwài
☐ 中间 zhōngjiān
☐ 周围 zhōuwéi
☐ 办公室 bàngōngshì
☐ 百货大楼 bǎihuò dàlóu
☐ 宾馆 bīnguǎn
☐ 操场 cāochǎng
☐ 厕所 cèsuǒ
☐ 超市 chāoshì
☐ 车站 chēzhàn
☐ 厨房 chúfáng
☐ 大街 dàjiē
☐ 大楼 dàlóu
☐ 电影院 diànyǐngyuàn
☐ 饭店 fàndiàn
☐ 饭馆 fànguǎn
☐ 房间 fángjiān
☐ 房子 fángzi
☐ 隔壁 gébì

- ☐ 楼 lóu
- ☐ 图书馆 túshūguǎn
- ☐ 杯子 bēizi
- ☐ 菠菜 bōcài
- ☐ 菜单 càidān
- ☐ 餐厅 cāntīng
- ☐ 茶叶 chá yè
- ☐ 醋 cù
- ☐ 大米 dà mǐ
- ☐ 蛋糕 dàn gāo
- ☐ 点心 diǎn xīn
- ☐ 饭 fàn
- ☐ 果汁 guǒ zhī
- ☐ 胡萝卜 hú luó bo
- ☐ 黄瓜 huáng guā
- ☐ 鸡蛋 jī dàn
- ☐ 酱 jiàng
- ☐ 饺子 jiǎo zi
- ☐ 橘子 jú zi
- ☐ 咖啡 kā fēi
- ☐ 开水 kāi shuǐ
- ☐ 可可 kě kě
- ☐ 可乐 kě lè
- ☐ 矿泉水 kuàng quán shuǐ
- ☐ 萝卜 luó bo

- ☐ 馒头 mántou
- ☐ 面包 miànbāo
- ☐ 面条 miàntiáo
- ☐ 牛奶 niú nǎi
- ☐ 啤酒 píjiǔ
- ☐ 苹果 píngguǒ
- ☐ 葡萄 pútao
- ☐ 茄子 qiézi
- ☐ 蔬菜 shūcài
- ☐ 水果 shuǐguǒ
- ☐ 酸奶 suānnǎi
- ☐ 汤 tāng
- ☐ 土豆 tǔ dòu
- ☐ 晚饭 wǎn fàn
- ☐ 午饭 wǔ fàn
- ☐ 乌龙茶 wūlóngchá
- ☐ 西餐 xīcān
- ☐ 西瓜 xīguā
- ☐ 西红柿 xīhóngshì
- ☐ 虾 xiā
- ☐ 香肠 xiāngcháng
- ☐ 香蕉 xiāngjiāo
- ☐ 玉米 yùmǐ
- ☐ 早饭 zǎo fàn
- ☐ 中餐 zhōngcān

② 代名詞 40個

- ☐ 别的 bié de
- ☐ 大家 dà jiā
- ☐ 多少 duō shǎo

- ☐ 哪 nǎ
- ☐ 哪个 nǎ ge (nǎige)
- ☐ 哪里 nǎ li

- ☐ 哪儿 nǎr
- ☐ 哪些 nǎxiē
- ☐ 那 nà
- ☐ 那边 nàbiān
- ☐ 那个 nàge (nèige)
- ☐ 那里 nàli
- ☐ 那么 nàme
- ☐ 那儿 nàr
- ☐ 那些 nǎxiē
- ☐ 那样 nàyàng
- ☐ 你 nǐ
- ☐ 你们 nǐmen
- ☐ 您 nín
- ☐ 谁 shéi
- ☐ 什么 shénme
- ☐ 什么时候 shénme shíhou
- ☐ 他 tā

- ☐ 她 tā
- ☐ 它 tā
- ☐ 为什么 wèishenme
- ☐ 我 wǒ
- ☐ 一切 yíqiè
- ☐ 咱们 zánmen
- ☐ 怎么 zěnmē
- ☐ 怎么样 zěnmeyàng
- ☐ 怎样 zěnyàng
- ☐ 这 zhè
- ☐ 这边 zhèbian
- ☐ 这个 zhège (zhèige)
- ☐ 这里 zhèlǐ
- ☐ 这么 zhème
- ☐ 这儿 zhèr
- ☐ 这些 zhèxiē
- ☐ 这样 zhèyàng

③ 量詞 38個

- ☐ 本 běn
- ☐ 遍 biàn
- ☐ 层 céng
- ☐ 次 cì
- ☐ 场 chǎng
- ☐ 顿 dùn
- ☐ 份 fèn
- ☐ 幅 fú
- ☐ 个 ge
- ☐ 根 gēn
- ☐ 架 jià

- ☐ 间 jiān
- ☐ 件 jiàn
- ☐ 节 jié
- ☐ 斤 jīn
- ☐ 棵 kē
- ☐ 颗 kē
- ☐ 克 kè
- ☐ 块 kuài
- ☐ 辆 liàng
- ☐ 米 mǐ
- ☐ 篇 piān

☐ 瓶 píng
☐ 束 shù
☐ 双 shuāng
☐ 岁 suì
☐ 所 suǒ
☐ 趟 tàng
☐ 套 tàò
☐ 天 tiān

☐ 位 wèi
☐ 页 yè
☐ 一点 yìdiǎnr
☐ 一下 yíxià
☐ 一些 yìxiē
☐ 枝 zhī
☐ 种 zhǒng
☐ 座 zuò

④ 動詞 326個

* ピンインに // があるのは、分離動詞（離合詞）です。// を除いて覚えてかまいません。

☐ 安排 ānpái
☐ 搬 bān
☐ 办 bàn
☐ 帮助 bāngzhù
☐ 包 bāo
☐ 保护 bǎohù
☐ 报名 bàomíng
☐ 背诵 bèisòng
☐ 比如 bǐrú
☐ 变 biàn
☐ 表达 biǎodá
☐ 表示 biǎoshì
☐ 表演 biǎoyǎn
☐ 表扬 biǎoyáng
☐ 不如 bùrú
☐ 不行 bùxíng
☐ 擦 cā
☐ 猜 cāi
☐ 参观 cānguān

☐ 差 chà
☐ 尝 cháng
☐ 吃 chī
☐ 吃惊 chī/jīng
☐ 迟到 chídào
☐ 出差 chūchāi
☐ 出发 chūfā
☐ 出来 chū/lai
☐ 出去 chū/qu
☐ 处理 chǔlǐ
☐ 穿 chuān
☐ 答应 dāying
☐ 打 dǎ
☐ 打工 dǎ/gōng
☐ 打搅 dǎjiǎo
☐ 打开 dǎ/kāi
☐ 打扰 dǎrǎo
☐ 打算 dǎsuàn
☐ 打针 dǎ/zhēn

☐ 打字 dǎ//zì
☐ 戴 dài
☐ 担心 dān//xīn
☐ 当 dāng
☐ 倒 dǎo
☐ 倒 dào
☐ 到 dào
☐ 道歉 dào//qiàn
☐ 得到 dé//dào
☐ 等 děng
☐ 等待 děngdài
☐ 点 diǎn
☐ 掉 diào
☐ 订 dìng
☐ 丢 diū
☐ 懂 dǒng
☐ 动 dòng
☐ 动身 dòng//shēn
☐ 读 dú
☐ 度假 dù//jià
☐ 锻炼 duànliàn
☐ 对不起 duìbuqǐ
☐ 发现 fāxiàn
☐ 反应 fǎnyìng
☐ 放 fàng
☐ 放假 fàng//jià
☐ 放心 fàngxīn
☐ 分别 fēnbié
☐ 否定 fǒudìng
☐ 服务 fúwù
☐ 辅导 fǔdǎo
☐ 付 fù

☐ 复习 fùxí
☐ 复印 fùyìn
☐ 负责 fùzé
☐ 改变 gǎibiàn
☐ 改正 gǎizhèng
☐ 干杯 gān//bēi
☐ 感到 gǎndào
☐ 感谢 gǎnxiè
☐ 赶不上 gǎnbùshàng
☐ 赶得上 gǎndeshàng
☐ 感冒 gǎnmào
☐ 搞 gǎo
☐ 告辞 gào//cí
☐ 告诉 gàosù
☐ 给 gěi
☐ 工作 gōngzuò
☐ 够 gòu
☐ 刮风 guā//fēng
☐ 拐 guǎi
☐ 关门 guān//mén
☐ 关心 guān//xīn
☐ 关照 guānzhào
☐ 管 guǎn
☐ 广播 guǎngbō
☐ 逛 guàng
☐ 过来 guò//lai
☐ 过去 guò//qu
☐ 害怕 hàipà
☐ 好像 hǎoxiàng
☐ 喝 hē
☐ 后悔 hòuhuǐ
☐ 滑冰 huá//bīng

☐ 滑雪 huá//xuě
☐ 画 huà
☐ 欢迎 huānyíng
☐ 还 huán
☐ 恢复 huīfù
☐ 换 huàn
☐ 回 huí
☐ 回答 huídá
☐ 回来 huí//lai
☐ 回去 huí//qu
☐ 挤 jǐ
☐ 寄 jì
☐ 记 jì
☐ 继续 jìxù
☐ 加 jiā
☐ 剪 jiǎn
☐ 捡 jiǎn
☐ 减少 jiǎnshǎo
☐ 见面 jiàn//miàn
☐ 建议 jiànyì
☐ 讲 jiǎng
☐ 降落 jiàngluò
☐ 交换 jiāohuàn
☐ 交往 jiāowǎng
☐ 叫 jiào
☐ 接触 jiēchù
☐ 接着 jiēzhe
☐ 结束 jiéshù
☐ 结账 jié//zhàng
☐ 借 jiè
☐ 介绍 jièshào
☐ 进来 jìn//lai

☐ 进去 jìn//qu
☐ 进行 jìnxíng
☐ 禁止 jìnzhǐ
☐ 经过 jīngguò
☐ 惊讶 jīngyà
☐ 聚会 jùhuì
☐ 觉得 juéde
☐ 开 kāi
☐ 开车 kāi//chē
☐ 开玩笑 kāi//wánxiào
☐ 看 kàn
☐ 看病 kàn//bìng
☐ 看见 kàn//jiàn
☐ 考试 kǎoshì
☐ 靠 kào
☐ 咳嗽 késou
☐ 控制 kòngzhì
☐ 哭 kū
☐ 肯定 kěndìng
☐ 来不及 láibují
☐ 来得及 láidejí
☐ 浪费 làngfèi
☐ 劳动 láodòng
☐ 劳驾 láo//jià
☐ 理发 lǐ//fà
☐ 例如 lìrú
☐ 联系 liánxi
☐ 聊天儿 liáo//tiānr
☐ 了解 liǎojiě
☐ 离开 lí//kāi
☐ 买 mǎi
☐ 卖 mài

☐ 满意 mǎnyì
☐ 明白 míngbai
☐ 念 niàn
☐ 爬 pá
☐ 怕 pà
☐ 拍 pāi
☐ 拍照 pāi//zhào
☐ 跑步 pǎo//bù
☐ 陪 péi
☐ 赔 péi
☐ 培养 péiyǎng
☐ 碰 pèng
☐ 欺骗 qīpiàn
☐ 起来 qǐ//lai
☐ 敲 qiāo
☐ 瞧 qiáo
☐ 请 qǐng
☐ 请假 qǐng//jià
☐ 请教 qǐngjiào
☐ 请问 qǐngwèn
☐ 取得 qǔdé
☐ 认识 rènshi
☐ 认为 rènwéi
☐ 扔 rēng
☐ 上班 shàng//bān
☐ 上课 shàng//kè
☐ 上来 shàng//lai
☐ 上去 shàng//qu
☐ 生病 shēng//bìng
☐ 生气 shēng//qì
☐ 剩 shèng
☐ 胜利 shènglì

☐ 使 shǐ
☐ 适合 shìhé
☐ 适应 shìyìng
☐ 收拾 shōushi
☐ 输 shū
☐ 熟悉 shúxī
☐ 刷 shuā
☐ 睡 shuì
☐ 睡觉 shuì//jiào
☐ 说话 shuō//huà
☐ 送 sòng
☐ 抬 tái
☐ 躺 tǎng
☐ 讨论 tāolùn
☐ 讨厌 tǎoyàn
☐ 踢 tī
☐ 提高 tígāo
☐ 替 tì
☐ 填 tián
☐ 挑 tiāo
☐ 挑选 tiāoxuǎn
☐ 跳 tiào
☐ 跳舞 tiào//wǔ
☐ 贴 tiē
☐ 听 tīng
☐ 听说 tīng//shuō
☐ 听写 tīngxiě
☐ 停 tíng
☐ 吐 tù
☐ 推 tuī
☐ 退烧 tuì//shāo
☐ 退休 tuìxiū

☐ 脱 tuō
☐ 拖 tuō
☐ 完 wán
☐ 玩儿 wánr
☐ 忘 wàng
☐ 忘记 wàngjì
☐ 维护 wéihù
☐ 违反 wéifǎn
☐ 闻 wén
☐ 问 wèn
☐ 问好 wèn/hǎo
☐ 问候 wènhou
☐ 误会 wùhuì
☐ 吸收 xīshōu
☐ 希望 xīwàng
☐ 习惯 xíguàn
☐ 洗澡 xǐ/zǎo
☐ 喜欢 xǐhuan
☐ 下班 xià/bān
☐ 下课 xià/kè
☐ 下来 xià/lai
☐ 下去 xià/qu
☐ 吓 xià
☐ 显得 xiǎnde
☐ 羡慕 xiànmù
☐ 相信 xiāngxìn
☐ 想 xiǎng
☐ 想念 xiǎngniàn
☐ 响 xiǎng
☐ 象征 xiàngzhēng
☐ 像 xiàng
☐ 笑 xiào

☐ 写 xiě
☐ 谢谢 xièxie
☐ 醒 xǐng
☐ 修改 xiūgǎi
☐ 修理 xiūlǐ
☐ 休息 xiūxi
☐ 需要 xūyào
☐ 选择 xuǎnzé
☐ 演出 yǎnchū
☐ 养 yǎng
☐ 邀请 yāoqǐng
☐ 咬 yǎo
☐ 要 yào
☐ 依靠 yīkào
☐ 以为 yǐwéi
☐ 赢 yíng
☐ 迎接 yíngjiē
☐ 影响 yǐngxiǎng
☐ 用 yòng
☐ 游览 yóulǎn
☐ 游泳 yóu/yǒng
☐ 预习 yùxí
☐ 原谅 yuánliàng
☐ 约 yuē
☐ 允许 yúnxǔ
☐ 运 yùn
☐ 运动 yùndòng
☐ 在 zài
☐ 赞成 zàchéng
☐ 增加 zēngjiā
☐ 展览 zhǎnlǎn
☐ 站 zhàn

- ☐ 长 zhǎng
- ☐ 掌握 zhǎngwò
- ☐ 招待 zhāodài
- ☐ 招呼 zhāohu
- ☐ 找 zhǎo
- ☐ 照顾 zhàogù
- ☐ 照相 zhào//xiàng
- ☐ 争取 zhēngqǔ
- ☐ 整理 zhěnglǐ
- ☐ 挣 zhèng
- ☐ 支持 zhīchí
- ☐ 知道 zhīdao
- ☐ 指出 zhǐchū
- ☐ 指导 zhǐdǎo
- ☐ 治疗 zhìliáo
- ☐ 种 zhòng

- ☐ 煮 zhǔ
- ☐ 祝 zhù
- ☐ 住 zhù
- ☐ 祝贺 zhùhè
- ☐ 住院 zhù//yuàn
- ☐ 祝愿 zhùyuàn
- ☐ 抓 zhuā
- ☐ 转告 zhuǎngào
- ☐ 赚 zhuàn
- ☐ 装 zhuāng
- ☐ 准备 zhǔnbèi
- ☐ 走 zǒu
- ☐ 走路 zǒu//lù
- ☐ 做客 zuò//kè
- ☐ 做梦 zuò//mèng
- ☐ 坐 zuò

⑤ 助動詞 11個

- ☐ 得 děi
- ☐ 该 gāi
- ☐ 敢 gǎn
- ☐ 会 huì
- ☐ 可以 kěyǐ
- ☐ 能 néng

- ☐ 能够 nénggòu
- ☐ 想 xiǎng
- ☐ 要 yào
- ☐ 应该 yīnggāi
- ☐ 愿意 yuànyì

⑥ 形容詞 134個

- ☐ 安静 ānjìng
- ☐ 饱 bǎo
- ☐ 宝贵 bǎoguì

- ☐ 抱歉 bàojiàn
- ☐ 不错 búcuò
- ☐ 不对 búduì

☐ 差不多 chàbùduō
☐ 长 cháng
☐ 吵 chǎo
☐ 聪明 cōngmíng
☐ 错 cuò
☐ 低 dī
☐ 短 duǎn
☐ 对 duì
☐ 多 duō
☐ 方便 fāngbiàn
☐ 丰富 fēngfù
☐ 复杂 fùzá
☐ 干净 gānjìng
☐ 干燥 gānzào
☐ 高 gāo
☐ 高兴 gāoxìng
☐ 贵 guì
☐ 好 hǎo
☐ 好吃 hǎochī
☐ 好喝 hǎohē
☐ 好看 hǎokàn
☐ 好听 hǎotīng
☐ 好玩儿 hǎowánr
☐ 好容易 hǎoróngyi
☐ 合适 héshì
☐ 厚 hòu
☐ 糊涂 hútu
☐ 急忙 jí máng
☐ 寂寞 jìmò
☐ 假 jiǎ
☐ 健康 jiànkāng
☐ 结实 jiéshi

☐ 紧张 jǐnzhāng
☐ 近 jìn
☐ 精彩 jīngcǎi
☐ 可怜 kělián
☐ 可怕 kěpà
☐ 可惜 kěxī
☐ 渴 kě
☐ 客气 kèqì
☐ 快乐 kuàilè
☐ 宽敞 kuānchāng
☐ 困 kùn
☐ 辣 là
☐ 老实 lǎoshi
☐ 累 lèi
☐ 冷 lěng
☐ 厉害 lìhai
☐ 凉快 liángkuai
☐ 了不起 liǎobuqǐ
☐ 流利 liúlì
☐ 麻烦 máfan
☐ 马虎 mǎhu
☐ 马马虎虎 mǎmǎhūhū
☐ 慢 màn
☐ 忙 máng
☐ 美丽 měilì
☐ 闷热 mēnrè
☐ 难 nán
☐ 难过 nánguò
☐ 难看 nánkàn
☐ 难受 nánshòu
☐ 能干 nénggàn
☐ 年轻 niánqīng

☐ 暖和 nuǎnhuo
☐ 偶然 ǒurán
☐ 胖 pàng
☐ 漂亮 piàoliang
☐ 朴素 pǔsù
☐ 齐 qí
☐ 奇怪 qíguài
☐ 气愤 qìfèn
☐ 轻松 qīngsōng
☐ 清楚 qīngchu
☐ 热闹 rènao
☐ 热情 rèqing
☐ 认真 rènzhēn
☐ 容易 róngyì
☐ 擅长 shàncháng
☐ 伤心 shāngxīn
☐ 生动 shēngdòng
☐ 适当 shìdàng
☐ 瘦 shòu
☐ 舒服 shūfu
☐ 顺利 shùnlì
☐ 松 sōng
☐ 随便 suíbiàn
☐ 疼 téng
☐ 甜 tián
☐ 痛苦 tòngkǔ
☐ 痛快 tòngkuai
☐ 突然 tūrán
☐ 危险 wēixiǎn
☐ 卫生 wèishēng
☐ 稳定 wěndìng
☐ 细 xì

☐ 咸 xián
☐ 香 xiāng
☐ 相反 xiāngfǎn
☐ 相同 xiāngtóng
☐ 详细 xiángxì
☐ 小气 xiǎoqì
☐ 小心 xiǎoxīn
☐ 辛苦 xīnkǔ
☐ 兴奋 xīngfèn
☐ 严格 yángé
☐ 严肃 yánsù
☐ 严重 yánzhòng
☐ 一般 yìbān
☐ 一样 yíyàng
☐ 遗憾 yíhàn
☐ 优美 yōuměi
☐ 油腻 yóunì
☐ 有趣 yǒuqù
☐ 愉快 yúkuài
☐ 远 yuǎn
☐ 脏 zāng
☐ 糟糕 zāogāo
☐ 早 zǎo
☐ 着急 zháojí
☐ 整齐 zhěngqí
☐ 正常 zhèngcháng
☐ 正确 zhèngquè
☐ 直接 zhíjiē
☐ 周到 zhōudào
☐ 主动 zhǔdòng
☐ 准确 zhǔnquè
☐ 准时 zhǔnshí

⑦ 副詞 93個

- | | |
|--|---|
| ☐ 比较 bǐjiào | ☐ 基本上 jīběnshang |
| ☐ 必须 bìxū | ☐ 几乎 jīhū |
| ☐ 别 bié | ☐ 简直 jiǎnzhí |
| ☐ 不 bù | ☐ 渐渐 jiànjiàn |
| ☐ 不要 búyào | ☐ 尽管 jǐnguǎn |
| ☐ 不用 búyòng | ☐ 尽快 jǐnkuài |
| ☐ 才 cái | ☐ 尽量 jǐnliàng |
| ☐ 曾经 céngjīng | ☐ 经常 jīngcháng |
| ☐ 常常 chángchang | ☐ 竟然 jìngrán |
| ☐ 大概 dàgài | ☐ 究竟 jiūjìng |
| ☐ 大约 dàyuē | ☐ 就 jiù |
| ☐ 当然 dāngrán | ☐ 可能 kěnéng |
| ☐ 到处 dào chù | ☐ 恐怕 kǒngpà |
| ☐ 到底 dàodǐ | ☐ 快 kuài |
| ☐ 的确 díquè | ☐ 快要 kuàiyào |
| ☐ 都 dōu | ☐ 立刻 lìkè |
| ☐ 多么 duōme | ☐ 拼命 pīnmìng |
| ☐ 反复 fǎnfù | ☐ 其实 qíshí |
| ☐ 反正 fǎnzhèng | ☐ 千万 qiānwàn |
| ☐ 赶紧 gǎnjǐn | ☐ 悄悄 qiāoqiāo |
| ☐ 赶快 gǎnkuài | ☐ 亲自 qīnzì |
| ☐ 刚刚 gānggāng | ☐ 却 què |
| ☐ 刚 gāng | ☐ 仍然 réngrán |
| ☐ 更 gèng | ☐ 稍微 shāowēi |
| ☐ 怪不得 guàibude | ☐ 实在 shízài |
| ☐ 果然 guǒrán | ☐ 首先 shǒuxiān |
| ☐ 还 hái | ☐ 顺便 shùnbìan |
| ☐ 很 hěn | ☐ 似乎 sìhū |
| ☐ 忽然 hūrán | ☐ 随地 suídì |
| ☐ 互相 hùxiāng | ☐ 随时 suíshí |

- ☐ 太 tài
- ☐ 特别 tèbié
- ☐ 挺 tǐng
- ☐ 偷偷 tōutōu
- ☐ 也 yě
- ☐ 也许 yěxǔ
- ☐ 一边 yìbiān
- ☐ 一定 yídìng
- ☐ 一共 yígòng
- ☐ 一块儿 yíkuàir
- ☐ 一起 yìqǐ
- ☐ 一直 yìzhí
- ☐ 由 yóu
- ☐ 已经 yǐjīng
- ☐ 尤其 yóuqí
- ☐ 有点儿 yǒudiǎnr
- ☐ 有时候 yǒushíhou

- ☐ 有些 yǒuxiē
- ☐ 又 yòu
- ☐ 原来 yuánlái
- ☐ 越来越 yuèlaiyuè
- ☐ 再 zài
- ☐ 正 zhèng
- ☐ 正在 zhèngzài
- ☐ 逐渐 zhújiàn
- ☐ 总 zǒng
- ☐ 最 zuì
- ☐ 最好 zuìhǎo
- ☐ 只 zhǐ
- ☐ 只好 zhǐhǎo
- ☐ 只是 zhǐshì
- ☐ 至少 zhìshǎo
- ☐ 终于 zhōngyú

⑧ 介詞（前置詞） 21個

- ☐ 按照 ànzhào
- ☐ 把 bǎ
- ☐ 被 bèi
- ☐ 比 bǐ
- ☐ 朝 cháo
- ☐ 趁 chèn
- ☐ 除了 chúle
- ☐ 从 cóng
- ☐ 给 gěi
- ☐ 跟 gēn
- ☐ 根据 gēnjù

- ☐ 关于 guānyú
- ☐ 据 jù
- ☐ 离 lí
- ☐ 让 ràng
- ☐ 通过 tōngguò
- ☐ 往 wǎng
- ☐ 为 wèi
- ☐ 为了 wèile
- ☐ 向 xiàng
- ☐ 在 zài

⑨ 連詞（接續詞） 28個

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ 并且 bìngqiě | ☐ 如果 rúguǒ |
| ☐ 不但 búdàn | ☐ 虽然 suīrán |
| ☐ 不管 bùguǎn | ☐ 所以 suǒyǐ |
| ☐ 不过 búguò | ☐ 万一 wànyī |
| ☐ 不仅 bùjǐn | ☐ 无论 wúlùn |
| ☐ 不论 búlùn | ☐ 以及 yǐjí |
| ☐ 不然 bùrán | ☐ 因此 yīncǐ |
| ☐ 但是 dànshi | ☐ 因为 yīnwèi |
| ☐ 而且 érqiě | ☐ 由 yóu |
| ☐ 还是 háishì | ☐ 只是 zhǐshì |
| ☐ 和 hé | ☐ 只要 zhǐyào |
| ☐ 或者 huòzhě | ☐ 只有 zhǐyǒu |
| ☐ 即使 jíshǐ | ☐ 总之 zǒngzhī |
| ☐ 然后 ránhòu | ☐ 作为 zuòwéi |

⑩ 助詞 12個

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ☐ 吧 ba | ☐ 了 le |
| ☐ 的 de | ☐ 吗 ma |
| ☐ 得 de | ☐ 嘛 ma |
| ☐ 地 de | ☐ 呢 ne |
| ☐ 过 guo | ☐ 似的 shìde |
| ☐ 的话 dehuà | ☐ 着 zhe |

旅行編

中国を歩くヒント





上海の旧租界（バンド）の西洋建築



大連のロシア風建築



大連近郊のリゾート地・金石灘



上海に残る16世紀の庭園・豫園



中国茶の聖地・福建省武夷山の、手作業による製茶風景



上海近郊の水郷・周荘の観光舟

ビザ（“签证”）のあれこれ

現在、日本国籍者は二週間以内の観光については、ビザの取得は不要です。しかしノービザで入国して二週間を越える場合、現地では延長できないことがあるので、二週間を超えることが事前に分かっている場合は出発前に取得しておくのが無難です。

中華人民共和国のビザには、Lビザ（“旅游”）、Fビザ（“访问”）、Xビザ（“学习”）、Zビザ（“职业”）などの種類があり、一般の観光旅行にはL、短期の研修などにはF、留学にはX、就労にはZと、それぞれ用途が決められています。種類を表すアルファベットは、それぞれの中国語のピンインの頭文字です。



90日滞在可能なビザ

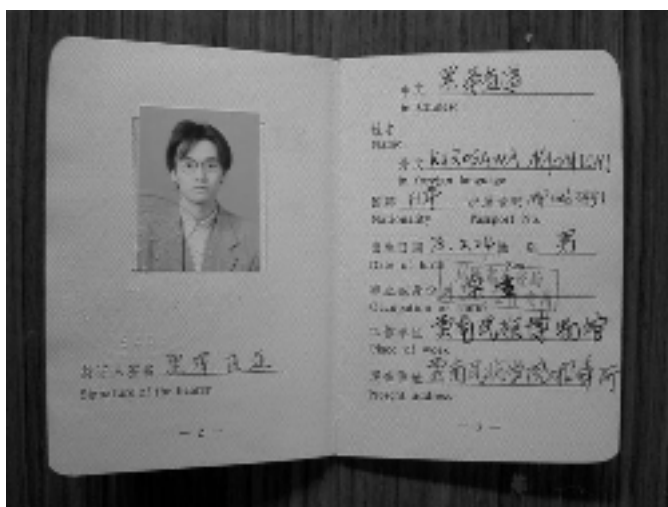
入国の回数にも種類があり、一度しか入国できない一次ビザ、二回入国できる二次ビザ、一定の期間内に何度でも入国できる多次ビザ（マルチビザ）があります。また日本で取得するビザには、一度の入国につき最長何日間滞在できるかが記されています。30日であれば、“入境后可停留 30 天”というぐあいに記されます。また、ビザには全体の有効期限というものがあり（“有效期”、“请于此前入境”など）、それ以前に入国しないとビザそのものの

が失効します。

中国に入ってから、ビザに記された滞在日数を超えることになった場合、Lビザならば原則では1回（30日）の延長が可能です。ある程度大きな街の公安局の外事科で料金を払って手続きをします。その際、証明写真も必要です。二回目の延長は、交通の不便な内陸部など特殊な例を除き難しいようです。また、Fビザは延長ができないので注意を要します。ビザの期限が切れたまま滞在しつづければ、オーバーステイとして処罰の対象になります。罰金は原則1日500元と言われ、これ自体小額ではありませんが、金額よりもこの行為自体が法律違反であることが問題です。次回以降の入国やビザの発給にも影響が出てくるでしょう。

ところで、香港やバンコクでビザを取得すると、先に述べた滞在日数が書かれていないものがあります。その場合は有効期限イコール滞在期限となるのですが、各地の公安局ではこれに対して異なる見解を示すことがあります。筆者の場合、雲南省のある町の公安局では、この種のビザに対し、ある時は有効期限イコール滞在期限として処理し、またある時は滞在期限は普通のLビザのように一ヶ月であるとして延長の手続きをさせられたことがあります。しかも同じ公安局の同じ担当者であるのにです。このように、外国人管理という本来厳格であるはずのところで、見解にばらつきが見られるのが面白いところです。また、時期やその時の情勢によってもビザの扱いはしばしば変動するので、常に確認することが必要です。

なお、6ヶ月以上の滞在には、ビザの取得とは別に「外国人居留証」が必要になります。



外国人居留証

中国・旅のコツ

近年、中国の沿海部は経済的に発展して、生活面でも日本と変わらなくなってきました。しかし一方、内陸部や西部と呼ばれる地域では、まだまだ開発は進まず、日本とは生活の面でかなりの違いが見られます。そして、面積で見ればそうした地域の方がはるかに広いのです。ここでは内陸部の旅にまで対応できるよう、中国の旅における様々なコツについて書いてみます。



雄大な風景は中国旅行の醍醐味だ！（長江上流の大屈曲、雲南省北部の徳欽県にて）

1. 持ち物と服装のコツ

旅の準備のメインは持ち物の準備でしょう。まずそれらを入れるのにどのようなカバンを選ぶかということから考えなければなりません。日本国内の旅行なら、荷物の多い長期旅行では車輪のついた大きなトランクタイプのもので選ぶ人が多いでしょう。しかし中国の場合、場所にもよりますがこれは必ずしもおすすめできません。というのは、上海などの大都市でも所によっては道が悪く、小さい車輪が動かなくなってしまうことがあるからです。内

陸部の都市や田舎ではなおさらです。筆者は、かつて雲南省の田舎に車輪付きの大きなトランクを持参して、泥道で自力では動けなくなり途方に暮れたことがありました。その道を通らないと自分の宿にたどり着けないのですが、これがタクシーの運転手も嫌がって入ってくれない悪道なのです。結局、カバンをいったん置き去りにして、宿の人を呼んできて運んでもらいました。

カバンについて、筆者の現在までの結論はこうです。まず、トランクタイプではなく、背中に背負うバックパックタイプのもの、できれば登山などに使われている丈夫なものをメインとします。そしてもう一つ、肩掛けベルトのついた小さめのカバンを用意し、飛行機などで託送することが不安なパソコンなどの電子機器や比較的重要な物品を入れます。ポイントは全てを身につけて自分の足だけで移動できることです。こうすれば、どんな田舎に行っても荷物の移動で困ることはありません。もちろん、カバン選びには個々人の好みもあるでしょうが、不便なところでは荷物によって自分の行動が制限されることにも注意してほしいと思います。特に一人旅の場合には、ちょっとトイレに行くという場面でも、置き引きなどの治安面やトイレそのものの衛生面から、大きな荷物の扱いには困ることがあるのです。

次に重要なのは、荷物の重さです。全てを身につけるとすれば、少しでも荷物を軽くしたいものです。同じような物品から選ぶのなら、なるべく軽量のものを選びましょう。特に、パソコンなどの電子機器は、ACアダプターや付属品まで含めると意外なほどの重量になります。本体が小型で軽量のものを選ぶだけでなく、ACアダプターは必ず海外対応であるか確認し、重たい変圧器などは使わないことです。ところで、重量の点で意外に重宝するのは、現地で購入できる物品です。筆者が愛用しているものに、現地で買った発泡スチロールのぞうりがあります。共用シャワーではゴムぞうりが必需品ですが、このぞうりはゴムではなく発泡スチロールでできているので、笑えるほどに軽いのです。しかも質が悪いかと思えばこれが意外に壊れません。現地で、このような軽いものがあれば、持参



超軽量ゴムぞうりと小型湯沸かし器。
ぞうりのメーカーは「PUMA」？

したものと取り替えていってもいいでしょう。ただし、電気を使うものは、時々危険なものがあるので注意しましょう。テーブルタップは、悪いものだとたまに火を噴くことがあり、ドライヤーで感電したという話も時々聞きます。

服装については、安全を考えるとあまり派手な服装はおすすめできません。近年でこそ、沿岸部の大都市では生活レベルも格段に向上し、服装も日本と大して変わらなくなってきましたが、内陸部の田舎のバスなどに乗ると、自分と周囲の服装がびっくりするほど違うと思われることがあります。もはやこれは中国と外国の違いではなく、中国国内での違いなのです。機能面では、なるべくポケットが多いものを選ぶのが良いでしょう。旅先では様々なものを身につけて管理する必要があるからです。また、ホテルで自分で洗濯することを考えると、化繊で乾きの早いものは便利です。中国の北方は非常に乾燥していますが、南方では雨季もあるからです。また、靴下や下着は抗菌タイプのものを選ぶと、洗濯の回数を減らすことができます。

2. ホテルのコツ

ホテルの使い方について、チェックインの仕方などは他の国とさして変わりません。パスポート、予約していれば予約の確認書などを見せてチェックインします。しかし部屋の種類については、日本とやや違う面もあります。普通、ホテルの部屋の種類は、“标准间(标间)”、“普通间(普间)”、“套房”などに分かれ、“标准间(标间)”はベッドがツインで“卫生间”(洗面台、バスタブ、シャワーなどの設備)がついたもの、“普通间(普间)”はツインで“卫生间”がないもの(トイレとシャワーは共用)、“套房”はスイートルームでダブルベッド、もちろん“卫生间”つきです。3人部屋、4人部屋などもありますが、なぜかシングルルームはあまり見られません。また、バックパッカーがよく利用するドミトリー(“多人间”)は、4人部屋などがそれを兼ねる場合や、さらに多人数の部屋を設置しているホテルもあります。学生時代の旅行ならば、ドミトリーで宿泊費を安くするのもいいのですが、相部屋だと結局は荷物の管理に気を使うことになります。外国人専用の部屋でも盗難事件はよく発生しているからです。

チェックインの際には、ほぼ例外なくデポジット(保証金、“押金”)を要求されます。現金で支払う場合には、宿代と合わせて提示された額を支払います。ルームキー(あるいはキーカード)と一緒に渡される控え証(“押金

単”)は、チェックアウトの時にデポジットを返してもらうのに必要なので大事にしまっておきましょう。また、クレジットカードを使う場合には、チェックイン時にカードを提示して手続きし、チェックアウト時に支払いがキャンセルされます。部屋の設備や物品を大きく損壊したりしない限り、デポジットからお金が引かれることはほとんどありません。



ホテルに荷を降ろし落ち着いた瞬間（雲南省北部、メコン川上流部にて）

ホテルの部屋に入って荷物を置いたら、まずはお茶でも飲んで休みたいものです。中国では水道の水は飲めないなので、以前は必ずお湯が入った魔法瓶が置かれていたのですが、最近ではミネラルウォーターの普及も進み、ホテルでもそれを使った給湯器兼給水器が置かれることが多くなりました。装置の上にミネラルウォーターのタンクがあり、蛇口を動かすと沸いたお湯と水がそれぞれ出る仕組みです。ただし、このお湯は沸騰したてというほど熱くはないので、インスタントラーメンを食べる場合や、熱いインスタントコーヒーを飲みたい場合などには、カップに入れて使う小型の電熱湯沸かし器を持っていると重宝します。

ホテルでも一般の家庭でも、日本と生活習慣の上でかなり違うのは、風呂やシャワーの使い方です。中国では、一般には日本の風呂のように湯船につかる習慣はありません。

体を洗うのはシャワーであり、中級以下のホテルになると、シャワーしかついていない場合が多く、さらに写真のように、シャワー自体を豪華にしていたものすらあります。また、バスタブがついていても使用しない人も多く、そのためバスタブの栓がないことが多いのです。さらに、せっかく服務員に栓を持ってきてもらっても、サイズが合わなかったりします。また、安ホテルではバスタブが汚く、病気が移るから使うなということも現地の人からよく聞きます。確かに、安ホテルの掃除は水をかける程度で済ませていることがあります。もっとも、外国人も多く泊まる高級ホテルならそういうことはまずないのですが。



いろんな所から水が出る豪華シャワー。
慣れないと息苦しい。

バスタブの栓がないとき、非常に簡単で便利な解決法があります。ビニール袋を一枚用意してバスタブの排水溝にかぶせ、その上から灰皿を置くのです。内陸部ならばホテルには必ず陶製の灰皿があります。それを上から置くだけでビニール袋は浮き上がり、立派に栓として機能します。無理にまるめて詰めこもうとすると、中には多少の空気が入っているのでビニール袋は浮き上がってきてしまいます。陶製の灰皿との組み合わせが抜群なのです。

内陸部では、立派なホテルでもお湯が出る時間が決まっていて、それを過ぎると水しか出ないことがあるので、チェックインのときによく確認しておきましょう。筆者がチベット自治区で泊まったあるホテルなどは、街一番のホテルであるのに、お湯どころか水にも時間制限がありました。つまり屋上のタンクの水がなくなったらそれで終わり、



水にも時間制限があったチベットのホテル

ということです。こんな場合は翌日の洗面の水くらいはためておかないといけません。

3. 食事のコツ

中国での食事は、旅の最大の楽しみの一つです。中華料理の世界は広大です。しかし、一人で旅行や出張で中国に滞在している場合、意外に困るのも食事なのです。というのも、レストランでの料理は大人数で食べることを前提としており、一皿の分量も多いのです。複数で食べる場合は、人数分プラス1品くらいの分量が適当で、人数が増えれば増えるほど多くの種類を食べることができます。これは家庭や友人を中心とした中国人の交際のあり方とも密接に関わっているように思われます。

そういうわけなので、誰かの家に呼ばれて食事したり、仕事の相手を接待したりされたりする場合は良いのですが、一人でいるときにどうするかというのがけっこう問題なのです。昼食程度なら、麺もの、ギョーザ、チャーハンなどの軽食（“小吃”）を利用するのがよいでしょう。しかし、昼も夜もこういうものだけでは栄養もかなり偏ってしまいます。そういう場合に便利なのが、中華のファーストフード（“快餐”）です。外国由来のケンタッキーやマクドナルドなども“快餐”といいますが、それとはまた違うものです。



快餐のカウンター



4 元の快餐

中華の“快餐”の仕組みはこうです。料金を払うと、おかずを入れる複数のへこみの付いたお盆が渡され、まずどんとご飯が盛られます。それから好きなおかずを指差して、係の人に盛ってもらいます。最後にスープがつくこともあります。おかずは、大きく肉・魚類（“荤菜”）と野菜類（“素菜”）と

に分かれており、それぞれの数によって料金が変わります。「一荤三素」なら4元、「二荤三素」なら5元……という具合です。頼む時には「何元のを下さい」という頼み方が簡単でしょう。もともと、大学や職場の食堂もこのようなスタイルをとっていることが多く、日本人からは「ぶっかけ飯」などと言われていましたが、最近では食器も衛生的になってきました。日本にはない仕組みなので最初は戸惑いますが、慣れるとバランスよく肉類、野菜類をとることができ、さらに経済的でもあります。また、このタイプでなくとも、具がかかったご飯のセットメニューも便利です。日本で言えば「〇〇丼」に相当するもので、例えば、おかずが回鍋肉なら「回鍋肉飯」となります。一人用のトレーで出てきてスープなどが付くこともあります。メインのおかずは一種類です。ただし、これらの“快餐”や一人分用のセットは田舎の町ではあまり見られません。



セットメニュー

屋台や道路で売っている食べ物は、衛生面でのイメージはあまり良くないのですが、きちんと火を通してのことなどを確認できれば利用しても良いでしょう。筆者も、シシカバブ（“羊肉串”）は大の好物です。ただ、最近では場所によっては規制が厳しくなり、道路で売ること自体ができなくなっているようです。ところで、屋台のものに限らず、食べ物は少しでも匂いや味がおかしいと思ったら絶対に食わず、すぐに捨てましょう。中国では食

べ物を残すことについてはあまり抵抗感がないので、食べ残しても気にしなくていいのです。



道端で焼きながら売られる羊肉串

4. トイレのコツ？

ここで最後にトイレのコツについて書けば、このコラムは完成です。しかし残念ながら、トイレについてはほとんどコツがありません。強いて言えば、朝にホテルでしっかり用を足しておくことくらいです。日本人にとって、中国のトイレ事情がかなり厳しいものであることは有名です。特に内陸部では、公衆トイレはかなり汚いのです。田舎の町になればなるほどその厳しさは増すのですが、最終的に、チベット圏の村落などに行くと、もはや各家庭にもトイレはなく畑で用を済ませることになり、かえって大自然の中で爽快であったりします。

清潔感の問題とは別に、中国のトイレが閉鎖空間でないことも日本人には慣れないところです。最近多いのは、しゃがむと頭の高さくらいの仕切りによって横に区切られたトイレです。もちろん前に扉はなく、通路には開かれています。面白いのは、こういう場合、決して後ろ向きに座る人はいないということです。後ろ向きは無防備と感じられるためでしょうか？ そのため、

外からトイレに入っていくと、しゃがんで神妙な顔をした人と必ず目が合うことになります。

しかし考えてみれば、トイレが閉鎖空間であるかどうかは感覚の問題にすぎないのです。自分が用を足していることと、隣の人が用を足していることの間には何ら関連はなく、しょせん他人事なのです。そう考えると次第に気にならなくなるものです。基本的に、中国人は家族や友人、知り合いには非常に親切である一方、赤の他人に対してはかなりそっけないのです。トイレも周囲が他人であれば、こちらも気にする必要はないと言えましょう。この辺がトイレのコツということになるでしょうか？



地方都市の公衆トイレ

5. おわりに ——楽しい旅をするために

最後に、中国を旅する上で、最も重要なコツを書き加えておきます。先にトイレの話でも書きましたが、中国人は、友人、知り合いやその知り合いという風につながる人脈を極めて重視するのです。従って、旅行の場合にも、事前に誰かの紹介ということでコネを作っておき、それをたどっていくと非常に歓待してもらえます。場合によっては、何から何までしてもらって、むしろこちらが申し訳なくなるほどです。これは一般の日本人には見られない性質でしょう。逆に、一人で何のコネもなく飛び込んでいくと、しょせん赤の他人であるために、非常に冷たいあしらいを受けることがあります。以前から、一人旅の日本人バックパッカーの中国に対するイメージが非常に悪いのは、この辺にも原因があるようです。旅行だけでなくビジネスにおいても、きっちりと人脈を作ってから相手を訪ねるのが最大の成功のコツであると言えましょう。

中国・旅の安全

ここでは、中国を旅行や出張で訪れる際の安全面の注意について記します。以下の内容を読むと、中国はずいぶん危険な所だと思って敬遠してしまう人もいるかも知れません。しかし、以下の注意点のほとんどは他の外国に行く時にも共通するものなのです。日本は、時折凶悪事件が起こるとはいえ、治安面ではずいぶん安全な方です。海外へ渡航するには、まずそのゆるんだ安全感覚を見直すことから始めないといけません。また逆に、中国を例として安全面での的確な感覚を身につけておけば、テロや戦争が起っているような地域を除いては、渡航してもまず大丈夫であると言えます。

近年、中国の治安はどんどん悪くなっているような印象を受けます。現地で留学中の日本人の友人に再会すれば、実際に交通事故に遭った話や、間一髪で遭いそうになった話を聞き、中国人の友人に再会すれば、強盗に遭って命と引き換えに多額の金銭を盗られた話まで聞きます。危険は重大事件や事故だけでなく、スリや置き引き、宿やタクシーの客引きなど日常の中にも潜んでいます。もちろん、旅行中や出張中の事故には、航空事故のように個人ではほとんど防ぎようのないものもありますが、自分のできるだけのことはしておく、あるいは万一何かがあった時のために準備しておくということは、旅の安全を得るために最低限必要なことでしょう。

1990 年代の半ば、筆者が中国で長期の留学を始めようとしていた頃、ある大学で目の当たりにしたのは、度重なる盗難事件をめぐる留学生と留学生宿舎側との対立でした。留学生宿舎で盗難事件が頻発し、留学資金のほとんど全てを盗られた学生もいました。深夜、就寝中に合鍵で侵入された点から見て、おそらくは内部犯行であろうと思われましたが、当然、宿舎の経営者は部内者の犯行を否定しました。双方の言い分は激しく対立し、ほどなく日本人留学生全員が宿舎を去りました。筆者はその後この宿舎を利用しましたが、さすがに毎晩不安なので手持ちの変圧器を重りにした即席の「鳴子」を作りました。無理にドアを開けるとガチャンと大きな音になる仕組みです。さらにパスポートや T / C (トラベラーズチェック) が入った貴重品袋は就寝中も腰から離さない習慣が身につきました。ひとたび被害に遭えば、直接的な被害はもちろんですが、犯人ではない現地の関係者との間にも、様々なしこりを残すことになってしまうのです。今ではさすがにもう「鳴子」は作りませんが、よく知らない街で初めての宿に泊まる時には、就寝中も貴重品は体から離しません。



筆者の作った鳴子。無理にドアを開けるとおもりが茶碗に落ちる。

海外での旅の中で、命の次に大切なものは何かと言えば、それはパスポートです。パスポートがなければ自分が誰であることを証明できず、密入国者扱いされても仕方ありません。海外では日本人のパスポートは闇の市場で高額に売買されており、常に狙われているのです。さらに現在の中国ではパスポートを売った外国人を逮捕できる法律もできています。彼の国で犯罪者となってしまうことほど恐ろしいことはありません。いったんそのような立場になってしまったら、果たして正当な取調べや裁判を受けられるかどうか極めて疑問だからです。

パスポートを貴重品袋に入れるのは常識ですが、どのような袋を使うかなかなか難しいものです。また、事前に良いものを準備しておかないと現地ではあまり手に入りません。筆者の経験では、ズボンの内側にベルトから吊り下げるタイプのものがお薦めです。貴重品袋は、デパートの海外旅行用品のコーナーなどで売られていますが、まず目に付くのは首から紐で吊り下げるタイプです。しかしこれは一度使ってみれば分かるのですが、不思議なほど肩が凝るのです。さらに夏場は胸の前に物があると熱気がたまり、耐えられないほどに暑く感じます。中国の北方でも夏は相当な暑さになることを思えばこれは避けたいところです。次によく見かけるのは、腹巻きタイプのもので、袋についたベルトを腰に回して固定し、袋はズボンの中に隠します。これだとなかなか良いようですが、難点は意外な所に潜んでいました。中国では、家庭でも食堂でも背の低い腰掛（“凳子”）を用いて食事することが多い

のですが、筆者の場合、腹巻タイプだと胃腸が圧迫されてしまいあまり食べられず、さらに腹痛を引き起こすことまでありました。結論としては、パスポートサイズの貴重品袋で、ズボンの内側に吊り下げるタイプがおすすめです。ただし、このタイプは二本の紐が生命線なので、ホックが外れてズボンのすそから落ちてしまわないか、常に注意しましょう。

盗難や紛失にそなえて、パスポートの最初のページは必ずコピーをとり、さらに入国に際して取得した中国のビザや、T / C（トラベラーズチェック）、クレジットカードの番号を全て控えておき、これらは小さめの袋（チャック付きの小型ビニール袋が良いでしょう）に入れて貴重品袋とは別に身につけます。海外旅行傷害保険に加入していれば、その控えも一緒に保管します。



貴重品袋とさまざまな控えの入ったビニール袋

万が一、パスポートの盗難に遭った場合には、必ず現地の公安局に被害を届け出て、盗難の証明書（“护照报失证明”）を発行してもらいます。これがないと先の手続きに進めません。さらに二週間以上の滞在予定でビザを取って入国している場合には、ビザもなくなっているわけですから暫定的な滞在許可をもらう必要があります。クレジットカードを取られていればすぐに国際電話で日本に連絡してカードの番号を停止します。手持ちの現金があればT / C の再発行はその後でも良いでしょうが、中国国内ではこれも手続き

ができる場所がかなり限られているので、事前に場所などをよく確認しておく必要があります。なお、中国では飛行機のチケットを購入する際にパスポートが必要です。全く手がないかどうかは断言できませんが、日本大使館や領事館から遠い奥地で盗難に遭った場合に、飛行機で移動できなくなる恐れがあります。そうなれば広大な大陸を何日もかけてバスで移動するしかなくなります。命の次に大切なパスポートを失ったその時から、苦難の道のりが始まるのです。また、日本から携帯電話を持っていく場合には、紛失すると不正に使用されることがあるので十分注意しましょう。紛失した場合にはすぐに国際電話をかけて日本の電話会社に届け出ることです。

近年の中国では、場所によって何らかの暴動が起こっているという情報を耳にすることがあります。中国に限ったことではありませんが、このような時に最も重要なのは危険な場所に行かないことです。危険なことが起っている地域でも、基本的に現地の人はその地で生活しているわけで、そこから得られる情報は非常に頼りになります。中国のような国であれば、政府が発表していないこともかなり知っているかも知れません。一定の語学力を身につけて欲しいのは、こうした現地人の情報を活用できるからでもあるのです。

また、暴動というほどのことでもなくとも、どこの国でもどこの街でも、必ず「危ない」場所というがあるものです。問題なのは、情報不足によって危ない場所と認識しないでそこに降り立ってしまうことです。日本でも風俗営業店の集中するエリアなどを真夜中に一人で歩くのは危険でしょう。現地に住んでいる人間ならば、そこが危ないかどうかは大抵知っているものです。危ないところには行かない、これほど安全な旅の仕方はないのです。さらに、上海のような大都市では、駅の周辺は地方から出稼ぎにやって来た人々であふれており、そういう素朴な人々や不案内な外国人をカモにしようとする怪しい輩がたむろしています。日本で見られない光景として、宿や車の客引きをしている者が旅行者と見れば声をかけてくることがあります。中には真面目に客引きをしている者もないとは言えませんが、多くの場合、無理やり車に乗せられて法外な料金を請求されます。親切そうなおばさんについて行ったら、いつの間にか屈強な男に囲まれて、身動きが取れなくなっているなんてこともあるのです。

長い移動の直後には、体力的にも疲れ、判断力も普段より鈍っていますから、事前に旅行会社やインターネットなどから空港や駅の見取り図を入手し、タクシーやバス乗り場のおよその位置まで調べておくと安心です。疲れた体で重い荷物を背負ってあちこち彷徨っていると、客引きもここぞとばかりに寄ってきますから。また、夜遅い到着便などよほど心配な場合には、旅行会

社を通じて現地の送迎を頼むこともできます。なお、夜便の場合、地方の空港では到着後に両替ができないこともあるので、出発前に多少の中国元を用意しておくとなお安心です（まだ場所は限られていますが、一部の銀行やインターネットの両替ショップ、また国際空港の両替所で、かつてはできなかった中国元の両替ができるようになっていきます）。

旅の危険といえば、なにも犯罪に巻き込まれることだけではありません。旅の間は体力を消耗することが多いため、病気にもかかりやすくなります。中国には、最近の日本ではもうあまり見られず、しかもかかれば死亡率が高い病気も多くあります。代表的なものには、A型肝炎、B型肝炎、狂犬病、破傷風、腸チフスなどがあり、地域によってはマラリアやデング熱もあります。A型肝炎、B型肝炎、狂犬病、破傷風、腸チフスには予防のワクチンがあり、筆者も全て使用したことがあります。ただし、効果は限定的なうえ、医療保険の対象外なので接種の費用も高額です。病気を防ぐのに一番重要なのは、やはり体力的に無理をしないことです。少しでも疲れたら休む。無理だと思ったら予定もキャンセルする。短い旅行中はそれが惜しいかも知れませんが、体が健康ならば後の機会はいくらでもあるものです。悪い病気にかかってから後悔しても遅いのです。なお、狂犬病は咬まれた後でもすぐにワクチンを打てば発症を抑えられます（ただし一定の期間をあげながら合計6回打ち続けなければなりません）。マラリアやデング熱は蚊による媒介なので、危険地域では蚊に刺されないようにすることも大切です。現地で売っている蚊取り線香には毒性が強いものがあり、喉を痛めることがありますから、やはり虫除けや蚊取り線香は日本から持参したいものです。また当然ながらAC電源を使う方式のものは、停電の時には使えません。内陸では停電も頻発するのでこれにも注意しましょう。

南方で意外に困るのは、ノミや南京虫の痒みです。筆者がよくやられたのは、一匹が10箇所くらい刺してゆくもので、強烈な痒みが最低二週間は続きます。前に刺された跡が治らないうちに、次の10箇所、さらに10箇所と、痒みが次第に蓄積していきます。一番ひどくやられたのは、ある村で宿屋に泊まった晩で、一晩で100箇所くらい刺されてしまい、背中真っ赤になっていました。こういう時に一番役に立つのは、日本から持参した痒み止めです。というのも現地の薬屋をいくら探しても、痒みを抑えられる薬が手に入らなかったからです。さらに、痒み止めはサラサラした液状のタイプが良いでしょう。痒さは蚊よりずっと強烈で、何度も痒み止めを塗らざるを得ず、軟膏タイプのものだと皮膚がかぶれてしまうからです。痒みの強さには個人差があります。筆者も当初は塗炭の苦しみを味わいましたが、長期滞

在の最後の頃には、二、三日で痒みが引くまでに抵抗力が付いていました。
あの 100 箇所晩の洗礼のせいかもしれません。

最後に、最も恐ろしい危険を挙げるとすれば、それは麻薬に関係してしまうことです。自分から手を出すことはなくとも、空港などでだまされて運び屋から荷物を預けられたり、いつの間にかこっそり入れられたりした上で捕まれば、それが自分の持ち物でないと証明するのは極めて困難です。言葉の不自由な中で行われてゆく取調べや裁判がどうなってしまうかを考えるだけでも恐ろしいことです。近年の中国では麻薬関係で日本人に死刑判決が出ており、2010 年 4 月には、日本人 4 名の死刑が執行されています。刑務所などに拘留されている日本人の数も年々増えています。海外では、ちょっとした気の緩みで、一生を棒に振る可能性があるのです。

なお、海外での基本的な危険情報については、外務省の海外安全情報のホームページ (<http://www.anzen.mofa.go.jp/>) などを参照するのがよいでしょう。大きな情勢の変化や、特定の伝染病の流行などについてはここで情報が得られます。このように安全面については、渡航前の準備が非常に重要なのです。



すぐに役立つワンフレーズ中国語会話

出会い

你好！ Nǐ hǎo! こんにちは。
大家好！ Dàjiā hǎo! みなさん、こんにちは。
老师好！ Lǎoshī hǎo! 先生、こんにちは。
好久不见！ Hǎojiǔ bú jiàn! おひさしぶり。
最近怎么样？ Zuìjìn zěnmeyàng? 最近どうですか？
欢迎欢迎！ Huānyíng huānyíng! ようこそ。
请进！ Qǐng jìn! どうぞ。お入りください。
出去啊？ Chūqù a? お出かけですか？
上哪儿？ Shàng nǎr? どちらへ？
吃饭了吗？ Chī fàn le ma? 食事は済ませましたか？
回来了！ Huílai le. おかえり。ただいま。

別れ

再见！ Zàijiàn! さようなら。
明天见！ Míngtiān jiàn! 明日また。
回头见！ Huítóu jiàn! またあとで。
我走了。 Wǒ zǒu le. では失礼します。
告辞了。 Gàocí le. 失礼いたします。
打搅了。 Dǎjiǎo le. お邪魔しました。
慢走。 Màn zǒu. お気をつけて。
晚安！ Wǎn'ān! おやすみ。

感謝・謝罪

谢谢！ Xièxie! ありがとう。

非常感谢！ Fēicháng gǎnxiè! とても感謝しています。

麻烦你了。 Máfan nǐ le. 面倒をおかけしました。

辛苦了。 Xīnkǔ le. ご苦労さまでした。

不好意思！ Bù hǎo yìsi. すみません。

对不起！ Duìbuqǐ! ごめんなさい。

请原谅。 Qǐng yuánliàng. お許してください。

非常抱歉。 Fēicháng bàoliàn. 申し訳ありません。

感謝・謝罪への答え

不用谢。 Bú yòng xiè. 感謝には及びません。

别客气。 Bié kèqi. 遠慮しないでください。

没什么。 Méi shénme. たいしたことではありません。

没关系。 Méi guānxi. たいしたことではありません。

没事儿。 Méi shìr. たいしたことではありません。

質問・確認

请问。 Qǐngwèn. すみません。

我想问一下。 Wǒ xiǎng wèn yíxià. お尋ねします。

好吗？ Hǎo ma? いいですか？

可以吗？ Kěyǐ ma? よろしいですか？

好不好？ Hǎo bu hǎo? いいですね？
对不对？ Duì bu duì? そうですね？
是不是？ Shì bu shì? そうですね？
怎么样？ Zěnmeyàng? どうですか？

同意・賛成

对。 Duì. そうです。
是。 Shì. そうです。
没错儿。 Méi cuòr. そのとおりです。
就是。 Jiùshi. そのとおりです。
好。 Hǎo. わかりました。
行。 xíng いいですよ。
可以。 Kěyǐ. かまいません。
没问题。 Méi wèntí. 問題ありません。

反对・拒否

不。 Bù. いや。
不对。 Bú duì. 違います。
不是。 Bú shì. 違います。
不可能。 Bù kěnéng. ありえません。
不会吧！ Bú huì ba! ありえない！
不行。 Bù xíng. だめです。
没办法。 Méi bànfǎ. 無理です。
不要！ Bú yào! いりません。

驚き・不快

哎呀！ Aiya! あれっ。
天啊！ Tiān a! なんということだ。
真的吗？ Zhēn de ma? ほんとう？
糟了！ Zāo le! しまった。
该死！ Gāisǐ! ちくしょう。
真讨厌！ Zhēn tǎoyàn! 大っ嫌い。

要求・要望

等一下。 Dēng yíxià. 待ってください。
慢点儿。 Mǎn diǎnr. ゆっくりにしてください。
安静一点儿。 Ānjìng yídiǎnr. 静かにしてください。
我要这个。 Wǒ yào zhèige. これをください。
我想看看。 Wǒ xiǎng kànkàn. 見てみたいです。
我想方便一下。 Wǒ xiǎng fāngbiàn yíxià. トイレに行きたいです。
我想休息一会儿。 Wǒ xiǎng xiūxi yíhuǐr. 少し休ませてください。
帮我一下。 Bāng wǒ yíxià. 手伝ってください。
拜托了。 Bàituō le. どうかよろしくお願いします。

時間・日付

几点钟？ Jǐ diǎn zhōng? 何時ですか？
两点钟。 Liǎng diǎn zhōng. 2時です。

几月几号星期几？ Jǐ yuè jǐ hào xīngqī jǐ? 何月何日何曜日ですか？
四月五号星期六。 Sì yuè wǔ hào xīngqī liù.

4月5日、土曜日です。

你的生日几月几号？ Nǐ de shēngrì jǐ yuè jǐ hào?

誕生日はいつですか？

你是哪一年出生的？ Nǐ shì nǎ yì nián chūshēng de?

何年の生まれですか？

你多大岁数？ Nǐ duō dà suìshu? お歳は？

我十九岁。 Wǒ shí jiǔ suì. 19歳です。

你属什么？ Nǐ shǔ shénme? 干支は何ですか？

我属马。 Wǒ shǔ mǎ. 午（馬）年です。

紹介

我来介绍一下。 Wǒ lái jièshào yíxià. ご紹介しましょう。

这位是李明先生。 Zhè wèi shì Lǐ Míng xiānsheng.

こちらは李明さんです。

你叫什么名字？ Nǐ jiào shénme míngzi? 名前は何ですか？

我叫张建民。 Wǒ jiào Zhāng Jiànmíng. 張建民といいます。

你贵姓？ Nǐ guì xìng? 名字はなんとおっしゃいますか？

我姓张。 Wǒ xìng Zhāng. 張と申します。

我是日本人。 Wǒ shì Rìběnrén. 私は日本人です。

我是学生。 Wǒ shì xuésheng. 私は学生です。

这是我的名片。 Zhè shì wǒ de míngpiàn. これは私の名刺です。

你是哪所大学的学生？ Nǐ shì nǎ suǒ dàxué de xuésheng?

どちらの大学の学生ですか？

我是国学院大学的学生。 Wǒ shì Guóxuéyuàn dàxué de xuésheng.

私は國學院大學の学生です。

電話

喂！ Wéi! もしもし。

您是哪一位？ Nín shì nǎ yí wèi? どちらさまでですか？

您找谁？ Nín zhǎo shéi? 誰に用事ですか？

您有什么事？ Nín yǒu shénme shì? 何の用事ですか？

请稍等。 Qǐng shāo děng. しばらくお待ちください。

对不起，您打错了。 Duìbuqǐ, nín dǎcuò le.

すみません、おかけ間違いですよ。

教室で

现在开始上课。 Xiànzài kāishǐ shàngkè.

さあ授業を始めましょう。

点名。林同学。—— 到。 Diǎnmíng. Lín tóngxué. —— Dào.

出席を取ります。林さん。—— はい。

老师，请再说一遍。 Lǎoshī, qǐng zài shuō yí biàn.

先生、もう一度言ってください。

老师，说得慢一点儿。 Lǎoshī, shuōde màn yìdiǎnr

先生、ゆっくりと言ってください。

老师，我有个问题。 Lǎoshī, wǒ yǒu ge wèntí.

先生、質問があります。

这个字怎么念？ Zhèige zì zěnmě niàn?

この字はどう発音しますか？

这个词是什么意思？ Zhèige cí shì shénme yìsi?

この単語はどういう意味ですか？

对不起，我迟到了。 Duìbuqǐ, wǒ chídào le.

すみません、遅刻しました。

買い物

欢迎光临！ Huānyíng guānglín! いらっしゃいませ。

您要买什么？ Nín yào mǎi shénme? 何をお求めですか？

还要别的吗？ Hái yào bié de ma? ほかに何かご入り用ですか？

这是什么？ Zhè shì shénme? これは何ですか？

多少钱？ Duōshao qián? いくらですか？

怎么卖？ Zěnmè mài? いくらですか？

太贵了。 Tài guì le. 高すぎます。

便宜点儿！ Piányi diǎnr! 安くしてください。

能不能打折？ Néng bu néng dǎzhé? 割引きは出来ませんか？

我不要了。 Wǒ bú yào le. やっぱりいりません。

请拿好。 Qǐng náhǎo. どうぞお持ちください。（お渡しします。）

ホテルで

请问，有房间吗？ Qǐngwèn, yǒu fángjiān ma?

すみません、部屋はありますか？

有。 Yǒu. あります。

没有。 Méiyǒu. ありません。

要住几天？ Yào zhù jǐ tiān? 何泊されますか？

住两天。 Zhù liǎng tiān. 2泊です。

一天多少钱? Yì tiān duōshao qián? 1泊いくらですか?

五百块钱。 Wǔ bǎi kuài qián. 500元です。

房间号码是四〇一。 Fángjiān hàomǎ shì sìlíngyāo.

部屋番号は401です。

给您钥匙，押金一百块钱。 Gěi nín yàoshi, yājīn yì bǎi kuài qián.

鍵をお渡しします。保証金は100元です。

我要退房。 Wǒ yào tuìfáng. チェックアウトしたいのですが。

我要换钱。 Wǒ yào huànqián. 両替をしたいと思います。

レストランで

您几位? Nín jǐ wèi? 何名様ですか?

给我菜单。 Gěi wǒ càidān. メニューをください。

要点儿什么? Yào diǎnr shénme? 何を召し上がりますか?

有什么拿手菜? Yǒu shénme nǎshǒu cài?

どんなお勧め料理がありますか?

有什么饮料? Yǒu shénme yǐnliào. どんな飲み物がありますか?

来一瓶啤酒。 Lái yì píng píjiǔ. ビールを一本ください。

辣椒少放点儿。 Làjiāo shǎo fàng diǎnr.

唐辛子は少なめにしてください。

先上米饭。 Xiān shàng mǐfàn. ご飯を先に出してください。

这儿能抽烟吗? Zhèr néng chōuyān ma?

ここでタバコを吸えますか?

很好吃。 Hěn hǎochī. おいしいです。

我吃饱了。 Wǒ chībǎo le. もうおなかいっぱいです。

我请客。 Wǒ qǐngkè. 私がごちそうします。
服务员! Fúwùyuán! 店員さん、すみません。
结帐! Jiézhàng! お勘定をお願いします。
买单! Mǎidān! お勘定をお願いします。

メニュー

米饭 mǐfàn ごはん
炒饭 chǎofàn チャーハン
包子 bāozi 肉まん
拉面 lāmian 拉麵 (手延べ中華麵)
刀削面 dāoxiāomiàn 刀削麵 (包丁で削り落とした中華麵)
牛肉面 niúròumiàn 牛肉のせ中華麵
水饺 shuǐjiǎo 水餃子 (ゆでたギョーザ)
馅饼 xiànbǐng 肉詰めパイ
麻婆豆腐 mápó dòufu 麻婆豆腐
木须肉 mùxūròu 木須肉 (卵ときくらげの炒め物)
青椒肉丝 qīngjiāo ròusī 青椒肉絲 (ピーマンと肉の細切り炒め)
回锅肉 huíguōròu 回鍋肉 (豚肉とキャベツの味噌炒め)
炒青菜 chǎoqīngcài 青菜炒め
铁板牛肉 tiěbǎn niúròu 鉄板牛肉 (牛肉の鉄板焼きオイスターソース)
鱼香茄子 yúxiāng qiézi 魚香茄子 (茄子の甘辛炒め)
宫保鸡丁 gōngbǎo jīdīng 宮保鶏丁 (鶏肉とナッツの炒め物)
西红柿炒鸡蛋 xīhóngshì chǎo jīdàn トマトと卵の炒め物
干烧虾仁 gānshāoxiārén むきエビのチリソース炒め
北京烤鸭 Běijīng kǎoyā 北京ダック

清蒸鱼	qīngzhēngyú	魚の中華風酒蒸し
红烧肉	hóngshāoròu	肉の醤油炒め煮
烤羊肉串	kǎo yángròuchuàn	シシカバブー
白斩鸡	báizhǎnjī	蒸し地鶏のぶつ切り
水煮鱼	shuǐzhǔyú	薄切り魚のラー油入りスープ煮込み
酸辣汤	suānlàtāng	黒酢入りピリ辛スープ
汉堡包	hànbǎobāo	ハンバーガー
比萨	bǐsà	ピザ
沙拉	shālā	サラダ
三明治	sānmíngzhì	サンドイッチ
啤酒	píjiǔ	ビール
可乐	kělè	コーラ
橙汁	chéngzhī	オレンジジュース
茶水	cháshuǐ	お茶
开水	kāishuǐ	湯冷まし（お湯）

空港で

请出示您的护照。 Qǐng chūshì nín de hùzhào.

パスポートを出してください。

这是我的护照、机票。 Zhè shì wǒ de hùzhào、jīpiào.

これが私のパスポートとチケットです。

打算停留几天？ Dǎsuàn tíngliú jǐ tiān? 何日滞在しますか？

五天。 Wǔ tiān. 五日間です。

八月二十号离开。 Bā yuè èrshí hào líkāi.

8月20日に出国します。

緊急

小心！ Xiǎoxīn! 気をつけて。
快点儿！ Kuài diǎnr! はやく。
救命啊！ Jiùmìng a! たすけて。
来人哪！ Lái rén na! 誰か来て。
小偷！抓住他！ Xiǎotōu! Zhuāzhù tā! 泥棒だ。捕まえろ。
我发烧了。 Wǒ fāshāo le. 熱が出ました。
我拉肚子了。 Wǒ lā dùzi le. おなかを壊しました。

緊急時の電話番号

报警电话 110	bàojǐng diànhuà	警察
火警电话 119	huǒjǐng diànhuà	消防
急救中心 120	jíjiù zhōngxīn	救急センター
交通事故 122	jiāotōng shìgù	交通事故



中国の食

世界三大料理の一つに数えられる中華料理は、種類、食材、調理法のどれをとって見ても、圧倒的な多様性と深さを誇っています。そのため、日々の生活において和、洋、中、韓、人によってはエスニック料理……と、様々な食文化が混じり合う現代日本のような状況とは異なり、多くの中国の人々の間では、自らの食文化である中華料理が大きな比重を占めています。近年でこそ、都市部ではマクドナルドやケンタッキーのようなファストフードや、日本式ラーメン（“日式拉面”）の店などが増えてきましたが、それらはまだまだ外国の料理を提供する高級店であり、一般庶民の日常の食事にまで浸透しているわけではありません。

中華料理には、中国の広い国土を背景として地方により様々な種類がありますが、よく知られたものには北京料理、上海料理、四川料理、広東料理があり、さらに山東料理、湖南料理、雲南料理……といった細かな区分をすることもあります。これらの味付けにはそれぞれ特徴があり、広東料理はあっさりとした塩味が多く、上海料理では醤油がよく使われ、北京料理は山東料理の特徴をベースに様々な特徴がミックスされていると言われます。四川料理は唐辛子と山椒を合わせた辛い料理として知られていますが、さらに辛いのは湖南料理だということは日本ではあまり知られていません。

漢民族の食文化を基礎とした中華料理は、動物性の食材としては豚をメインに使います。日本ではしばしば牛肉が使われる“青椒肉丝”は、中国では決まって豚肉が使われます。中国語で単に“肉”と言えばそれは豚肉を指すのであって、使われる肉が牛肉ならば“青椒牛肉丝”と言わないと不自然だからです。また本来、肉の最も上等な部分は“肥肉”と呼ばれる脂身であり、赤みの部分は“瘦肉”と呼ばれることから分かるようにランクの低いものでした。今でこそ都市部の人々は健康志向になってきていますが、農村部の食事に招かれると、家の主人が「君に一番いい所をあげよう！」と言って、こぶしほどもある脂身のかたまりをわざわざ取ってくれることがあります。

一方、肉の利用法で漢民族と著しい対照をなすのは、回族を始めとするイスラム教を信仰する民族の食文化です。イスラムの人々は宗教上の理由により豚肉を食べませんから、動物性の食材としては牛や羊がメインになります。回族のように全国に分布しているイスラム系民族のために、どの街にも必ず“清真食堂”などと呼ばれるイスラム食堂があります。牛をベースにしたスープに小麦の香りが香ばしい手打ち面を入れた“牛肉拉面”や、炭火で焼い

た羊の串焼き（“羊肉串”）は絶品です。イスラム教徒だけでなく誰でも食べられますから、見かけた際にはぜひ利用してみてください。

漢民族の食文化は、少数民族の多く住む地域にも広く浸透していますが、漢民族の多い大都市でも場所によっては少数民族の料理が見られることもあります。北京など北方においては、羊の焼き肉などモンゴル料理の影響がありますし、街中では冷麺のような朝鮮族の料理も見られます。雲南省のような南方では、これも激辛を特徴とするタイ族料理の店が街のあちこちにあります。

ところで、中華料理と日本の料理の大きな違いとして、生ものの扱いがあります。中華料理では、前菜の一部などを除いて、基本的には全ての食材は火を通して使い、生で食べることはほとんどありません。日本人のように、刺身や生卵を食べることもありません。そのため、日本の刺身の情報などが過剰に誤解されている部分もあるようで、かつて、筆者が現地に住んでいた時、地元の市場で豚肉の塊を買って帰ってくると、近所の知り合いのおじさんに、「日本人はすごいな！その豚肉も生で食べるのか！」と言われたことがあります。

もっとも中国でも、少数民族の中には一部に生ものを食べる習慣をもつ人々がおり、例えば雲南省に住むペー族には本当の「豚肉の刺身」がありますし、貴州省に住むトン族には「炒めた豚レバーの生き血あえ」の料理もあります。これはいったん炒めた豚レバーを、わざわざ豚の生き血で合えたものです。生の豚と聞けばそれだけで驚愕ですが、東南アジア、特にラオスやタイ北部にもこれと共通する生肉の食文化があります。もちろん、これらの料理も、大多数の生ものを食べない漢民族から見れば、相当「すごい」料理であることは間違いありません。



イスラム食堂の“牛肉拉面”（左）と“羊肉串”（右）。いずれも絶品！（雲南省昆明市にて）

中国の民族

中華人民共和国は、合わせて 56 種類の民族が住む多民族国家です。このうち人口の約 92 %を占めるのが漢民族であり、残りの約 8 %が少数民族です。ふだん自らがどのような民族であるかをあまり意識しない多くの日本人にとっては、「民族」という概念そのものが理解しにくいかも知れませんが、中国では自らの民族名は戸籍にも身分証明書にも記載され、極めて日常的な概念なのです。

例えばホテルのチェックインの際、中国人の宿泊客は身分証明書を提示し、氏名、性別、“単位”（職場や学校）などの情報とともに、台帳に“民族”を記載します。日本人が、外国人の扱いにあまり慣れていない中級以下のクラスのホテルに宿泊すると、パスポートの最初のページに民族の記載がないために、フロントの職員が頭を抱えることがあります。筆者がある田舎町のホテルに泊まった際も、フロントのお姉さんが筆者のパスポートを握ったまま、「えー！？ この人って何族？」と困り果ててしまいました。結局、しばらくして現れた先輩職員に、「日本人は日本って書けばいいの！」と怒られていました。ちなみに、多くの中国人は、大多数の日本人の民族名を“大和民族”であると認識しているようです。

中国の少数民族は、55 民族全て合わせても人口の約 8 %に過ぎませんが、全体の人口が大きい中国では、それは 1 億人を超える数になります。その中には、チワン族、満州族、回族、ミャオ族、ウイグル族、トゥチャ族、イ族、モンゴル族、チベット族といった 500 万人以上の民族もいれば、一方ではロッパ族のような 3000 人に満たない民族までおり、その言語や文化も様々です。例えば雲南省のように、特に民族の種類が多い地域では、街中で漢族の言語である“汉语”の“普通话”や、“汉语”のいくつかの方言（雲南方言や四川方言）の他、さらに複数の少数民族の言語が聞かれることも普通です。こうした、多民族、多言語の場に身を置くことができるのも、中国を旅したり、中国語を勉強したりすることの醍醐味の一つでしょう。

なお、台湾では中華人民共和国の民族分類で“高山族”とされている人々が、14 を数える“台湾原住民”（台湾先住民族）として認定されています。

中国民族名一覧

民族名	ピンイン表記	日本語名	人口	主な居住地
汉族	Hànzú	漢族	1137386100	全国
壮族	Zhuàngzú	チワン族	16178811	広西・雲南・広東・貴州
満族	Mǎnzú	満州族	10682262	遼寧・河北・黒龍江・吉林
回族	Huízú	回族	9816805	寧夏・甘肅・河南・新疆・全国
苗族	Miáozú	ミャオ族	8940116	貴州・湖南・雲南・重慶・四川
维吾尔族	Wéiwú'ěrzú	ウイグル族	8399393	新疆
土家族	Tǔjiāzú	トゥチャ族	8028133	湖南・湖北・重慶・貴州
彝族	Yízú	イ族	7762272	四川・雲南・貴州・広西
蒙古族	Měnggǔzú	モンゴル族	5813947	内蒙古・遼寧・吉林・黒龍江
藏族	Zàngzú	チベット族	5416021	西藏・青海・甘肅・四川・雲南
布依族	Bùyīzú	ブイ族	2971460	貴州
侗族	Dòngzú	トン族	2960293	貴州・湖南・広西
瑶族	Yáozú	ヤオ族	2637421	広西・湖南・雲南・広東・貴州
朝鮮族	Cháoxiǎnzú	朝鮮族	1923842	吉林・黒龍江・遼寧
白族	Báizú	ペー族	1858063	雲南
哈尼族	Hānízú	ハニ族	1439673	雲南
哈萨克族	Hāsàkèzú	カザフ族	1250458	新疆・甘肅
黎族	Lízú	リー族	1247814	海南
傣族	Dǎizú	タイ族	1158989	雲南
畲族	Shēzú	ショオ族	709592	福建・浙江・江西・広東・安徽
傈僳族	Lìsùzú	リス族	634912	雲南・四川
仡佬族	Gēlǎozú	コーラオ族	579357	貴州
东乡族	Dōngxiāngzú	トンシャン族	513805	甘肅
拉祜族	Lāhùzú	ラフ族	453705	雲南
水族	Shuǐzú	スイ族	406902	貴州・広西・雲南
佤族	Wǎzú	ワ族	396610	雲南
纳西族	Nàxīzú	ナシ族	308839	雲南・四川
羌族	Qiāngzú	チャン族	306072	四川

土族	Tǔzú	トゥー族	241198	青海・甘肅
仡佬族	Mùlǎozú	ムーラオ族	207352	広西
锡伯族	Xībózú	シボ族	188824	遼寧・新疆・黒龍江・吉林
柯尔克孜族	Kē'ěrkèzízú	キルギス族	160823	新疆
达斡尔族	Dáwò'ěrzú	ダフール族	132394	内蒙古・黒龍江・新疆
景颇族	Jǐngpōzú	チンポー族	132143	雲南
毛南族	Máonánzú	マオナン族	107166	広西
撒拉族	Sālāzú	サラール族	104503	青海
布朗族	Bùlǎngzú	プラン族	91882	雲南
塔吉克族	Tǎjīkèzú	タジク族	41028	新疆
阿昌族	Āchāngzú	アチャン族	33936	雲南
普米族	Pǔmízú	プミ族	33600	雲南
鄂温克族	Èwēnkèzú	エヴェンキ族	30505	内蒙古・黒龍江
怒族	Nǔzú	ヌー族	28759	雲南
京族	Jīngzú	キン族	22517	広西
基诺族	Jīnuòzú	チノー族	20899	雲南
德昂族	Dé'ángzú	ドゥアン族	17935	雲南
保安族	Bǎo'ānzú	ボウナン族	16505	甘肅
俄罗斯族	Éluósīzú	オロス族	15609	新疆・内蒙古
裕固族	Yùgùzú	ユーグ族	13719	甘肅
乌孜别克族	Wūzībiékèzú	ウズベク族	12370	新疆
门巴族	Ménbāzú	メンバ族	8923	西藏
鄂伦春族	Èlúchūnzú	オロチョン族	8196	内蒙古・黒龍江
独龙族	Dúlóngzú	トゥルン族	7426	雲南
塔塔尔族	Tǎtǎ'ěrzú	タタール族	4890	新疆
赫哲族	Hè zhézú	ホジェン族	4640	黒龍江
高山族	Gāoshānzú	高山族	4461	台湾・福建
珞巴族	Luòbāzú	ロツパ族	2965	西藏

*人口データは全て 2000 年のもの。

*高山族の人口は大陸側のみの数（台湾居住者を含まない）。

中国の年中行事 ～春節と中秋節～

中国には様々な年中行事があります。ここでは、その中でも特に重要な二つの伝統的な行事、春節と中秋節の雰囲気をご紹介します。この二つの行事は、遠く離れて暮らす家族が一堂に集まるという点では、日本の正月やお盆と似た性格があります。

中国では、これらの年中行事は旧暦に従って行われるので、春節はおよそ新暦の1月中旬から2月半ば、中秋節は9月初旬から10月初旬頃になります。この時期、遠方で仕事や出稼ぎをしている人は故郷に帰って家族と再会しようとするため、飛行機、列車や長距離バスなどの交通機関は大変に混雑します。春節の前後、寿司詰め列車をはるかに超える、超「押し寿司」状態の列車が運行されることなどは、日本でもよく知られているところです。中国滞在の期間がこの時期に重なる場合は、場所によっては全く移動ができなくなることもありますから、事前に暦をよく見て計画を立てることが必要です。

年越しの夜、多くの家庭では、集まった家族が一緒にテーブルを囲んで餃子を作ります。元々古代のお金の形を模したという縁起の良い餃子をワイワイと作りながら、家族の絆を確かめるのです。また、年越しの食事のことを“年夜饭”と言いますが、近年の大都市では、この時に高級な料理店を予約して贅沢な食事をとることも増えたようです。

一方、中秋節で重要な食べ物は月餅です。まん丸い満月を模したお菓子である月餅は、家族が丸く集まることの象徴です。街では、味も値段も様々な月餅が、早くは8月の半ば頃から売られ始めます。家ではご馳走を準備し、さらにお好みの月餅を沢山買い揃え、家族水入らずの楽しいひと時を過ごします。近年の都市部では、経済の発展に従って月餅も次第に豪華になり、高級ワインとセットになった1000円を超えるものも売られるようになりました。そればかりか、月餅の箱の中に高価な物品を忍ばせた超高級月餅が賄賂のように用いられるケースまで出てきて、一種の社会問題となっています。

春節や中秋節の時期に留学や旅行で中国に滞在していると、中国人の友人や先生が家に招いてくれることがよくあります。家族が集まるこの時期に、一人で過ごしている外国人ほど寂しい人はいないからです。

中国の省級行政区

	省级行政区	简称	省会或首府
直辖市	北京 Běijīng	京 Jīng	
	天津 Tiānjīn	津 Jīn	
	上海 Shànghǎi	沪 Hù	
	重庆 Chóngqìng	渝 Yú	
省	黑龙江 Hēilóngjiāng	黑 Hēi	哈尔滨 Hā'ěrbīn
	吉林 Jílín	吉 Jí	长春 Chángchūn
	辽宁 Liáoníng	辽 Liáo	沈阳 Shěnyáng
	河北 Héběi	冀 Jì	石家庄 Shíjiāzhuāng
	河南 Hénán	豫 Yù	郑州 Zhèngzhōu
	山东 Shāndōng	鲁 Lǔ	济南 Jǐnán
	山西 Shānxī	晋 Jìn	太原 Tàiyuán
	江苏 Jiāngsū	苏 Sū	南京 Nánjīng
	浙江 Zhèjiāng	浙 Zhè	杭州 Hángzhōu
	安徽 Ānhuī	皖 Wǎn	合肥 Héféi
	江西 Jiāngxī	赣 Gàn	南昌 Nánchāng
	湖北 Húběi	鄂 È	武汉 Wǔhàn
	湖南 Húnán	湘 Xiāng	长沙 Chángshā
	福建 Fújiàn	闽 Mǐn	福州 Fúzhōu
	台湾 Táiwān	台 Tái	台北 Táiběi
	广东 Guǎngdōng	粤 Yuè	广州 Guǎngzhōu
	海南 Hǎinán	琼 Qióng	海口 Hǎikǒu
	陕西 Shǎnxī	陕 Shǎn	西安 Xī'ān
	甘肃 Gānsù	甘 Gān	兰州 Lánzhōu
	青海 Qīnghǎi	青 Qīng	西宁 Xīníng
	四川 Sìchuān	川 Chuān	成都 Chéngdū
	云南 Yúnnán	滇 Diān	昆明 Kūnmíng
	贵州 Guìzhōu	黔 Qián	贵阳 Guìyáng

自治区	广西 Guǎngxī (壮族自治区)	桂 Guì	南宁 Nánning
	内蒙古 Nèiménggǔ (自治区)		呼和浩特 Hūhéhàotè
	宁夏 Níngxià (回族自治区)	宁 Níng	银川 Yínchuān
	新疆 Xīnjiāng (维吾尔自治区)	新 Xīn	乌鲁木齐 Wūlǔmùqí
	西藏 Xīzàng (自治区)	藏 Zàng	拉萨 Lāsà
	香港 Xiānggǎng (特别行政区)	港 Gǎng	
	澳门 Àomén (特别行政区)	澳 Ào	

中国は、上のような合計 34 の省級行政区に分けられます。省級行政区には、直轄市・省・自治区・特别行政区の 4 種類があり、それぞれの数は次の通りです。

直轄市	4
省	23
自治区	5
特别行政区	2

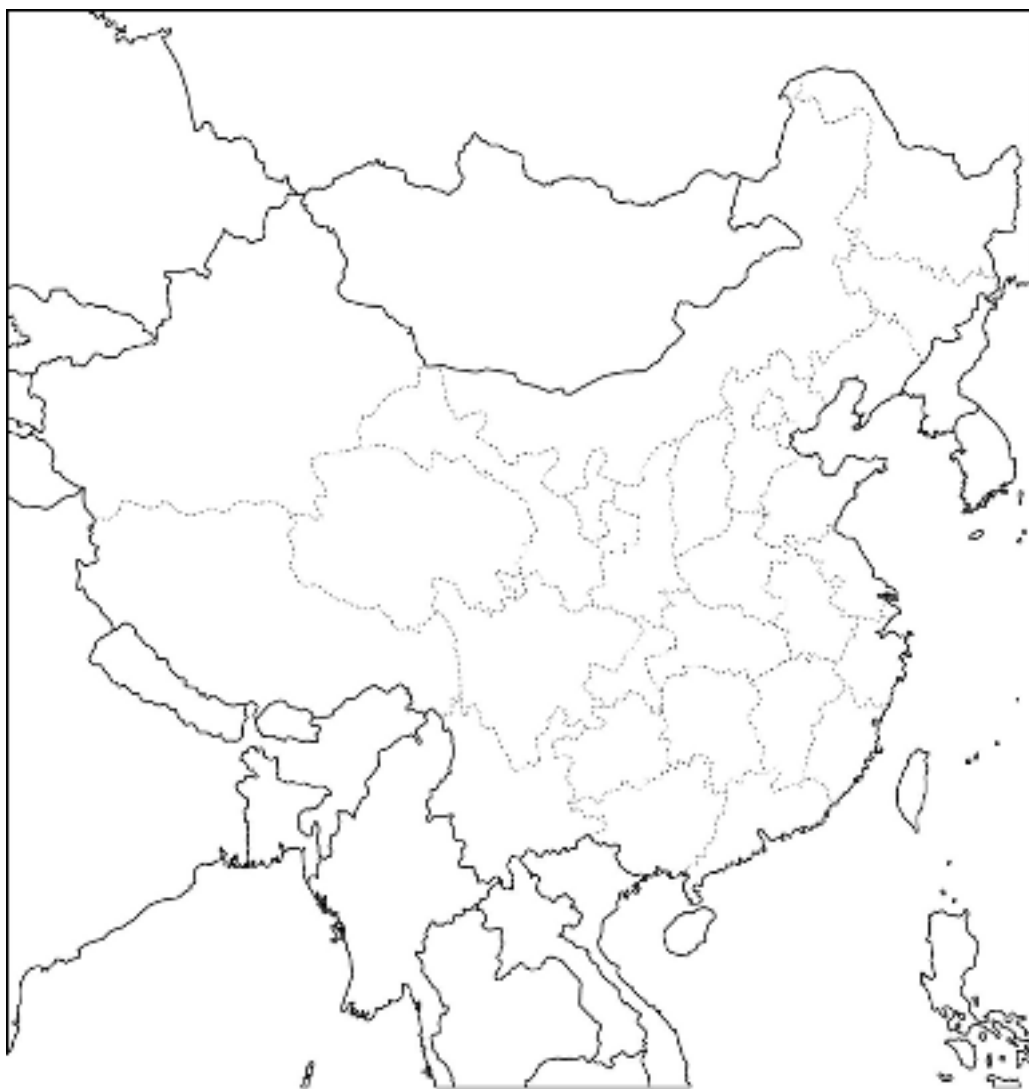
普通の日本人なら誰でも日本の都道府県名を全て知っているように、これらの行政区の名称と場所は、中国人にとっては常識の一部です。

你是哪儿人？ Nǐ shì nǎr rén? 「あなたはどちらの方ですか？」
我是四川人。 Wǒ shì Sìchuān rén. 「私は四川省の者です。」

このように、初対面の人同士が出身地を尋ね合いながら会話を始めていく光景は、日常ごく普通に見られるものです。さあ、みなさんも、自分で地図帳を開いて、それぞれの行政区の場所を調べてみましょう。

中国と周辺の国々

下の図は、中国を中心に、ユーラシア大陸の一部を切り取ったものです。
みなさんは国名を答えられますか？ また、中国の各省・直轄市の位置は
わかりましたか？



中国を知るための本（入門編）

旅行に行く前には、中国社会への想像力をたくましくしておきたいもの。ここでは読みやすいものや手に入れやすいものだけを選んでみました。ぜひ手にとってみてください。

①コミック

安彦良和『虹色のトロツキー』1～8巻（中公コミック文庫）

旧満州（中国東北部）を舞台にしたお話。実在の人物を数多く登場させて、昭和の日中関係史を浮き彫りにします。

井上純一『中国嫁日記』（エンターブレイン）

中国人の女性と結婚した日本人オタクの日常。文化的なギャップを楽しみつつ、ほほえましく描いています。「中国人」という大きなくくりで考えず、個人との心の交流が大切だと思わせてくれます。

②歴史

木之内誠『上海歴史ガイドマップ（増補改訂版）』（大修館書店）

現在の上海の地図に、歴史的事件の跡をびっしり書き込んで、簡明な解説をつけています。上海に行く機会があっても、この本を知らなければ、街歩きの面白さは半減するかもしれません。

小島晋治・丸山松幸『中国近現代史』（岩波新書・黄）

中国について考えるときには、近現代史の基本くらいはおさえておきたいもの。少し古いですが、流れをつかむには優れた本です。

岡本隆司『中国近代史』（ちくま新書）

中国の「中国らしさ」の理由を、経済史の立場で客観的に、大胆に論じています。感情論や「善悪」の判断から一旦はなれて、中国の行動原理を知るための好著です。

③小説

浅田次郎『蒼穹の昴』1～4巻（講談社文庫）

清朝末期の中国へ想像力の取っかかりが欲しいなら是非。フィクションと侮ってはいけません。絶妙な語り口にも引き込まれます。

魯迅『阿Q正伝』（増田渉訳・角川文庫）

中国近代文学の巨人・魯迅の短編9本を収録。中国語を学ぶなら、魯迅には一度触れておきたいところ。中国と向き合うヒントが、作品の随所に顔を見せます。

最後に一言

中国語を学ぶみなさんへ



中国語を学んでから

はじめに

ここでは、國學院大學で中国語を教えている私の個人的な経験を、少しご紹介したいと思います。中国語を学んだことで、私の人生には大きな変化がありました。それ自体が良かったのか悪かったのかはわかりませんが、中国語のプロとしても、企業に就職して実際に中国へ出かけ、様々な経験をつむことの方が、中国語の教師をすることよりも意義深いことであるのかもしれない。ただ、これから中国語を学ぼうとされているみなさんに、こういう例があるということを知っていただくのも、決して悪いことではないだろうと考えます。繰り返す話になりますが、しばらくお付き合いください。

中国語との出会い

私が大学に入学したのは 1993 年のことでした。第二次ベビーブーム、あるいは団塊ジュニアと呼ばれる私たちの世代は数が多く、この年の大学入学者は過去最多を記録しました。受験競争は激しいものでしたが、私は受験勉強を一所懸命にすることなく、高校では部活動にあけくれ、時間のあるときも大学受験と関係のない本ばかり読んでいました。高校のいくつかの科目では赤点の常習犯でしたが、さして気にすることもせず、ただなんとなく毎日を過ごしていたように思います。受験シーズンがやってきても、その生活は大きく変わらず、「本が好きだから文学部」というだけの理由で、いくつかの大学を受験しました。結果は当然ながら惨憺たるものでしたが、幸い、とある小さな大学から合格通知をもらうことができました。国語だけは得意でしたから、その配点が高かったのがよかったのだろーうと思います。ただし、その大学では受験学科に第二希望というのが認められていて、日本文学科を受験したにもかかわらず、合格したのは中国文学科でした。中国文学に關す

るきちんとしたイメージも持たないまま、私は中国文学科の学生になります。

さて、いざ入学してみると、私が漠然と持っていた大学のイメージとは随分違うことに気づきます。というのも、高校までと違って、まがりなりにも好きな分野の勉強がメインになるのだから、学生は学ぶことを楽しんでいるはずだと思っていたのです。大学に行けば、自然と周囲から刺激が得られ、毎日それなりに有意義に過ごせるだろうと考えていました。今思うと、時代もよろしくありませんでした。およそ 20 年間続いた日本の好景気が 1991 年頃から失速し始め、93 年には「バブル崩壊」というのが深刻な社会問題となっています。大学生も、将来に対して楽観的な希望は持てなくなっていました。とはいっても、ほんの数年前の先輩たちは、それなりに名の通った就職先に恵まれていましたし、勉強などちゃんとしなくても何とかやるのではないかという気分だけは残っていて、私たちは、何ともドンヨリした雰囲気の中で、カラオケやボーリングやゲーセンに、なけなしの小遣いをつぎ込むばかりでした。

サークルなども考えてみようかと、いくつか見て回りました。高校では弓道をやっていたので、弓道部を見に行きましたが、その大学では創部から間もない様子で、覇気が感じられず、学内に弓道場也没有ありません。そもそも小さな学校でしたから、全国レベルの強いクラブはなく、楽しげで華やかなサークルも少ないようでした。と、学生ホールの隅で、一種異様な雰囲気を放っている団体に目がとまりました。お洒落や華やかさとは無縁ながら、覇気だけはすさまじいものがあり、何やら熱心に議論しています。それが中国語の研究会でした。

研究会の活動は毎週最低 3 回、放課後 3 時間ほどかけて行われ、「語学指導運営委員」の上級生 1 人に 1 年生が 5 ～ 6 人ずつついて、発音、文法、読解、暗誦、聴き取り等を、それぞれ習熟度別に練習しながら、1 ～ 2 ヶ月おきに行われる部内試験の合格に向け準備をします。7 段階の試験のうち、6 段階に合格した時点で、「語学指導運営委員会」のメンバーとなるのですが、これがなかなか難しい。1 年次の終わりまでに 3 段階、2 年次末までに 5 段階、3 年次夏までに 7 段階の合格が理想とされましたが、4 年生でも 5 段階止まりという場合が多く、週末には特別講師として、中国関係の企業で働く

先輩を招いて特訓してもらうこともありました。

夏休みには5泊6日の合宿があり、睡眠時間を削ってフラフラになりながら、ひたすら中国語ばかり。「運営委員」の要求に応えられないと怒鳴られますから、下級生も必死です。運営委員会のメンバーも、下級生を指導する一方で、自分たちの活動をこなし、夜は明け方まで指導案を練るという状態。体育会的な強化合宿に近く、遊びの要素などほとんどありません。今考えても珍しい場であったと思います。合宿のほかにも、スピーチコンテストですとか、中国語劇ですとか、定期的にイベントがあり、部内試験もありますから、気を抜く暇がありません。それら全てが、少なくとも当事者の意識としては、内輪受けで満足するのではなく、外部へ見せても恥ずかしくないものが目指されていました。実際、他大学へ呼ばれて中国語劇の公演をしたり、中国語スピーチコンテストの大会で優勝して中国への航空券をいただいたり、それなりに成果は収めていたようです。中国語検定試験なども、内部試験で6段階程度まで合格していれば、今でいう2級くらいまでは特段の試験勉強をせずに取得できました。

私はその研究会で、役員を引き受けたり、先輩からのアメと鞭でその気にさせられたりしながら、いつのまにかお山の大將のような気分を味わうようになります。その大学の中では、私たち数人に中国語で勝負できる学生はいませんでしたし（当時その大学に中国人留学生はほとんどいませんでした）、中国語の授業も私たちの独壇場でした。2年次には、奇妙なエリート意識すら生まれて、同級生たちに不遜な態度をとることもあったような気がします。非常に狭い世界の中で、それも中国語というピンポイントのみ、周囲より勝っていたにすぎないのですけれど。

短期留学を経て

2年次の春休みに北京へ短期留学へ行った経験は、その後の私にとって大きかったかもしれません。研究会の仲間とは違う大学を選んだこともあり、日本の他大学から来ている学生と付き合えたのは収穫でした。長期留学を終

える直前に、私のいる5週間の短期クラスに参加しながら帰国までの時間をつぶそうという人が数人いて、私は彼らと昼食や夕食をともにすることが多かったように思います。一方、観光目当てに来ている学生（こちらがむしろ一般的でした）もあり、私が振り分けられたクラスは中国語の上級者半分、初・中級レベルの学生半分で、私1人がちょうど中間に位置していました。それまで、ネイティブスピーカーと話したことが数えるほどしかなかった私は、会話の流暢さでは上級者にはかないません。一方、中国人の先生の言葉はほぼ全て聞き取ることができ、何が何だかわからずポカンとしている初・中級者とはやはり違う。この中間的な位置が幸いし、初めての中国であったにも関わらず、自分自身を客観視する余裕が持てたような記憶があります。

同じクラスの上級者が、初級者を馬鹿にするのはあまり気持ちの良いものではありませんでした。当たり前ですが、中国では子供でも中国語を話しています。私たちが勉強する際に、発音の美しさや表現の自然さを心がけるのは大切ですが、それを自慢することが馬鹿馬鹿しいことに思えてきました。中国語を話せるというだけで偉ぶるのは、ちょっと違うのじゃないか。中国語を使って何をするのか、語学学習を何に生かすのかが重要なのではないかと思うようになりました。

一方で、人それぞれに勉強の仕方や中国語とのつきあい方があって、高度なレベルに達していないことを恥ずかしがる必要もない。中国人に「你好！」（こんにちは）とか「多少钱？」（いくらですか）とか言って、「わーい、通じたー！」と喜ぶ感覚も大切なのです。それを「あいつら、レベルが低くてダメだ」などというのはおかしいというのも、このときに初めて思ったことです。

現代文学で卒論を

1～2年次には、中国文学科の学生であったにもかかわらず、文学の授業は単に出席して単位を取るのみで、大人数の授業では後ろの方の席に座り、中国語の辞書をひきつつ、研究会活動の予習ばかりしていました。入学後、

すっかり中国語オタクになっていた私にとって、漢文訓読は興味を持ちづらくなっていました。古代中国語も返り点をふらずに、中国語として読むべきだという変な信念を持っていたこともあり、日本における漢文学の膨大な蓄積など意識することもないまま、単に「読める」ことのみを重視し、書かれた中身に関して突っ込んで考えることをしませんでした。今になって、ちゃんと聞いていたら面白かっただろうとすることがあります。現代文学で卒論を書くことにしたのも、中国語学習の延長として半ば当たり前のことで、研究会の仲間もほとんどは同じだったと思います。文学自体への関心は、あまりなくなってしまっていたようです。ですから、中国の現代文学との関わりを続けて、やがて研究者になることなど、その頃は思いもよりませんでした。

話が少しそれますが、現在 60 歳以上の、中国語の教師や現代中国の研究をしている人には、若い頃に中国に対して強いあこがれを持った方が多いようです。今では想像つかないかもしれませんが、およそ 30 年くらい前まで、社会主義国の中国は、貧富の差がなく、誰もが幸福に暮らせる理想の国だというイメージがありました。1945 年に日本との戦争が終わり、4 年間の内戦を経て、中国共産党が政権をとり、1949 年に中華人民共和国が成立します。日本人の中にも中国の未来に希望を寄せ、日本も中国を見習うべきだと考えた人がたくさんいたのです。実際には多くの餓死者が出たり、裕福な人々や文化人がひどい迫害を受けたりと、当時の中国社会が日本人の理想と隔たっていたのは事実ですが、国交がなかった当時は、そうした実情はあまり伝えられていなかったようです。生まれ変わった中国（新中国）のプラスイメージが、一定数の日本人に共有されていたことは間違いなく、中国語や中国の現代文学と関わる人々にはその傾向が強かったのです。そうした人たちは、何とかして新中国のことを知りたい、理解したいという情熱があって、言葉を学びました。つまり、最初から目的がはっきりしていたということができると思います。

今あげた人たちより 30 年近く遅れて生まれた私には、中国語を学ぶのに、これといった目的はありませんでした。大学へ入って、熱中できるものが他になかったから、たまたま出会った中国語にのめり込んだだけです。そうすると、言葉の勉強が究極の目的になってしまい、その後に何もないというこ

とになりやすいわけです。もちろん、言葉の学習を突き詰めること自体はすばらしいことで、言語学の研究に進むという選択肢もあるわけですが、私には言葉そのものを研究対象とするのがしんどくなりはじめていたのと、まわりに中国語学の専門家がいなかったこともあって、とりあえず卒論の課題、文学作品を読んで、考えて、調べてまた考える作業に取りかかりました。

卒業後、ひょんなことから他大学の大学院に進み、修士課程を終えた後、また別の大学の博士課程に進みました。文学研究のおもしろさを味わえるようになったのは、大学院進学後のことです。卒業論文を書く段階では、中国語の文章と格闘するだけで精一杯でした。

文学研究に取り組む中での細かいいきさつについては省きますが、大学院生時代には中国社会について、日本社会について、中国人研究者を含む幅広い年齢の人たちと議論する機会にめぐまれました。単なる言葉の練習としての会話ではなく、中国人と自分自身の生き方やものの考え方をかけて本気で議論する、その唯一のツールとしての中国語に親しむようになったことで、中国語オタクを脱する道筋がひらけたように思います。

中国語を教え始めて

大学院生の頃、アルバイトで中国語講座の講師をしました。上は 80 歳から下は 19 歳までの受講生を相手に 5 年間授業を担当しました。ここでは、大学の研究会で下級生相手にやっていた指導法というのが、非常に荒っぽいものだったことを、すぐに思い知らされました。有無を言わさぬスパルタ式の授業では、誰もついてきてくれません。初級段階、中級段階それぞれに、こちらが伝えるべき事柄や、受講生に必ず達成してほしい最低限のレベルというのはあるのですが、それを無理矢理押しつけるのでは芸がありません。上達するかどうかは結局のところ学習者の努力次第ではあるのですが、かといって伸び悩む学生を責めても仕方ない。授業は教師と学生との関係性の中ではじめて成り立つのだということを、アルバイトを通して学ぶことができたのは有り難いことでした。

そもそも、20 歳前後の受講生と、70 歳代の受講生とでは、興味の対象が大きく違ってきます。大学生であれば、就職に役立てようとか、大学院に進もうとか、大学の授業のプラスアルファなど、どちらかという実用的な関心が高いわけです。一方、退職した後で中国語を始めた方の場合、学習そのものを楽しみたいという欲求が強く、速い上達を目指して厳しい指導をするのは意味がありません。若い人の方が上達は速いことが多いですが、年配者は豊富な人生経験や知識を持っています。カルチャースクールのような場所では、受講生一人一人の欲求や個性を把握しながら、それぞれの長所を引きだし、毎回満足して帰ってもらうことが求められます。そのためにも、教える側が彼等と一緒に楽しむことが重要でした。バイト代を稼ぐために仕方なく授業をしているようでは、お金を払って来ている受講生に満足は与えられません。

これは大学で教えるようになって気づいたことですが、実は大学の授業でも同じなのです。大学の中国語の授業は、ほぼ同じくらいの年齢の学生が対象ですし、卒業のための単位を認定する必要から、ある程度は画一的な評価基準を適用します。しかし、やはり中国語を楽しんでもらうことの重要性は大きいと思うのです。はじめから大学の教員になることを強く希望していたわけではありませんが、中国語の教師になること、その一番現実的な場所としての大学が視野に入ってきたのは、この講座を通してでした。

おわりに

私が中国語の勉強を始めたきっかけから、教えるようになるまでのことを、かいつまんで紹介してみました。平凡な内容になってしまったような心配はあります。実際、特にドラマティックな事件があったわけでも、歴史の現場に居合わせるような経験をしたわけでもありません。ただ、たまたま中国語に出会って、気がついたら中国の文学を研究しながら、みなさんに中国語を教える仕事をするようになっていたというだけのことです。

大学院に進むのは、いわばレアケースであって、その点あまり参考にはな

らなかったかもしれませんが、國學院大學で中国語を教えている日本人教員のほとんどは、大学入学後に中国語を学び始めています。高校までは、中国語と何の関わりも持っていなかった人の方が多いのです。30歳代から60歳代までの教員がいますから、その経験は当然バラエティーに富んでいるはずですし、私よりずっと興味深い話を聞かせてくれる先生もいるでしょう。しかし、私は自分の経験の平凡さこそを、みなさんに紹介したいと思いました。もしも親しみのようなものを感じていただけたら、私としては幸いです。

唯一平凡でない点として、今から考えても馬鹿みたいに必死で中国語に取り組んでいた時期はあったのですが、本来、勉強法は様々です。私の場合は、熱中する対象が中国語しかなかった時期があったというだけです。私のような方法をとらなくても、基礎的な中国語能力を身につけた後、長期留学に行くこともできます。また、流暢に話せるまでいなくても、言葉を学ぶことによって、人生に変化が訪れることがあります。

外国語を学んだことによって人生が変わるということは、当たり前のようにあることです。触れたことがなければ素通りしてしまったはずのことに、多少でも知識があれば立ち止まるきっかけが生まれます。ふと立ち止まってみたことが、将来を大きく変えることにつながるかもしれません。可能性というのは、できるだけたくさんあったほうがいい。とりわけ外国語というのは、別の国のあらゆる物事と直結していますから、中国語を学べば、中国と接点を持つ可能性はぐっと高くなります。そして、何らかの形で実際に中国と関われば、一般的に言われているようなステレオタイプの中国イメージが、実は非常に表面的なものだということにも気づくでしょう。

本学で中国語を学ぼうというみなさんが、どれくらい熱心に取り組んでくれるか、私たちは非常に期待していますが、授業では必要最低限のことさえこなしてくれば、それ以上の強制はしません。中国語とのつきあい方は、100人いれば100通りあってかまわないと思うからです。むしろ楽しんでもらえることの方が重要だと考えています。ただ、もし中国や中国語のディープな世界をのぞいてみたい、中国語のプロを目指したいという方がいれば、専任教員のオフィスアワーに、研究室のドアをノックしてみてください。これまで知らなかった世界が、もしかしたら開けるかもしれませんよ。

執筆者 針谷壮一（文学部教授・外国語文化学科）

黒澤直道（文学部教授・外国語文化学科）

白井重範（文学部教授・外国語文化学科）

呉鴻春（文学部准教授・中国文学科）

分担 國學院大學の中国語科目（白井）／授業を活用しよう（白井）／中国語の発音（白井）／やさしい中国語の文法（針谷）／中国語の辞書（針谷）／パソコンで中国語（針谷）／中国語基本単語チェックシート（呉）／中国・旅の基本—ビザのあれこれ（黒澤）／中国・旅のコツ（黒澤）／中国・旅の安全（黒澤）／すぐに役立つワンフレーズ中国語会話（針谷・白井）／中国の食（黒澤）／中国の民族（黒澤）／中国民族名一覧（黒澤）／中国の年中行事（黒澤）／中国の省級行政区（針谷）／中国と周辺の国々（白井）／おすすめの本（白井）／中国語を学んでから（白井）／写真（白井・黒澤）／ピンインフォント作成（針谷）／レイアウト・校正（白井）

イラスト協力 小高敬子さん（外国語文化学科卒業生）

中国語学習の手引き

[非売品]

平成 21 年 3 月 31 日 初版発行

平成 27 年 4 月 1 日 第 5 版発行

編集 國學院大學中国語運営委員会

中国語ハンドブック(仮称)作成委員会

発行者 國學院大學

〒150-8440 東京都渋谷区東 4-10-28

